

報告事項

住民アンケートの結果報告

1. 単純集計（第1回審議会より修正）
2. クロス集計
3. 分析まとめ

1. 住民アンケート調査の実施について

第3次久米島町総合計画の策定にあたり、町民のまちづくりに関する意向を把握するため、全世帯を対象に住民アンケートを実施した。（朱字箇所：第1回審議会より追記）

■実施概要

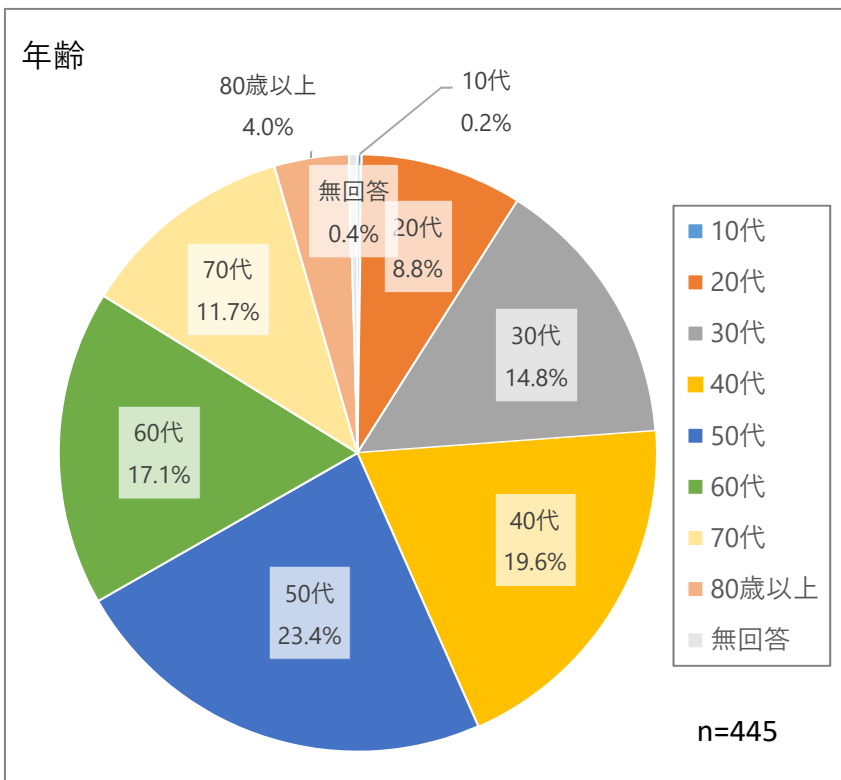
実施期間	令和6年7月1日～7月31日
対象	久米島町在住の方
調査方法	①郵送 自治体に加入している約3,500世帯へ区長による配布、郵送での回収 ②WEBアンケート（Microsoft Forms） 配布した調査票にWEB回答用QRコードの掲載及び 町公式LINEからアンケート回答用のURLを送付、WEBでの回収
回収数	・445件（①郵送：213件、②WEB：232件） ・回収率12.4%__無作為抽出（サンプリング調査）ではないため、「傾向を示す参考値」とする。
設問構成	●回答者の属性（職業・居住経緯、家族構成、年齢層、世帯収入） ●島での「暮らし」について（愛着、誇り、幸福度、生活の満足度評価など） ●島の「土地利用」について ●持続可能な島づくりについて（居住意向、生活・生業・自然に関する方針） ●あなたが思う・感じている久米島らしさ ●これからの久米島について（将来の久米島について）

3. 住民アンケート調査結果

1) 回答者の属性

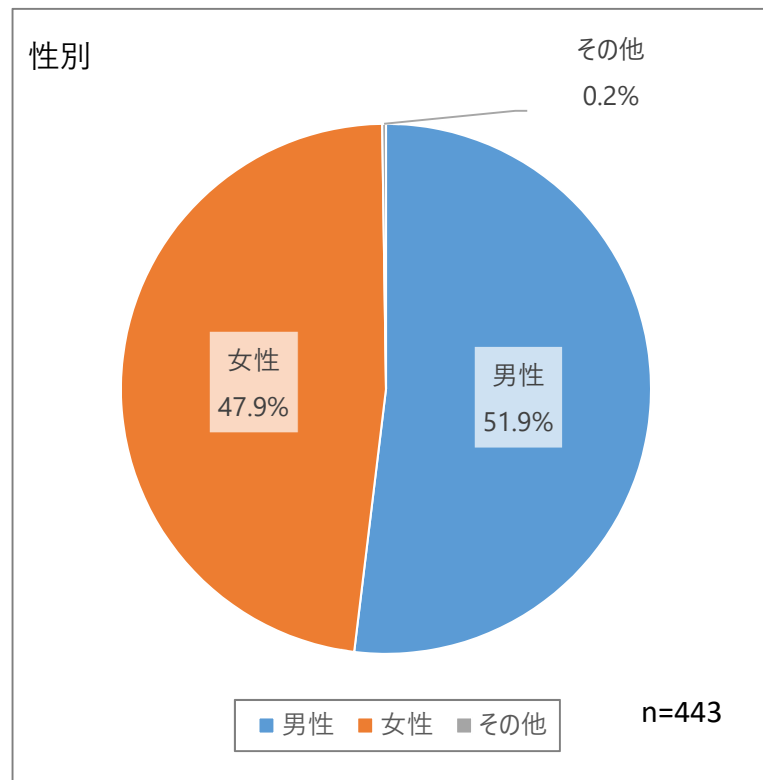
① 年齢

- 50代が最も多く（23.4%）、次いで40代（19.6%）、60代（17.1%）、30代（14.8%）となっている。



② 性別

- 男性51.9%、女性47.9%、その他0.2%となっている。

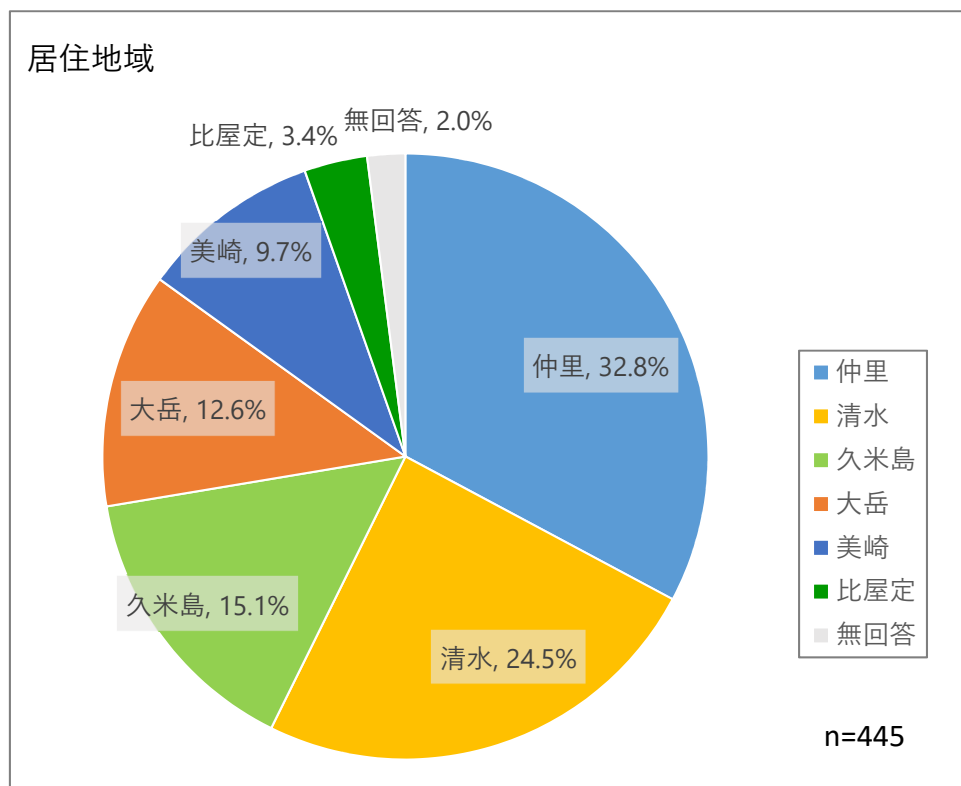


1. 住民アンケートの結果

1)回答者の属性

③居住地(小学校区)

- 最も多いのは「仲里小学校区」で（32.8%）、次いで「清水小学校区」（24.5%）、「久米島小学校区」（15.1%）となる。



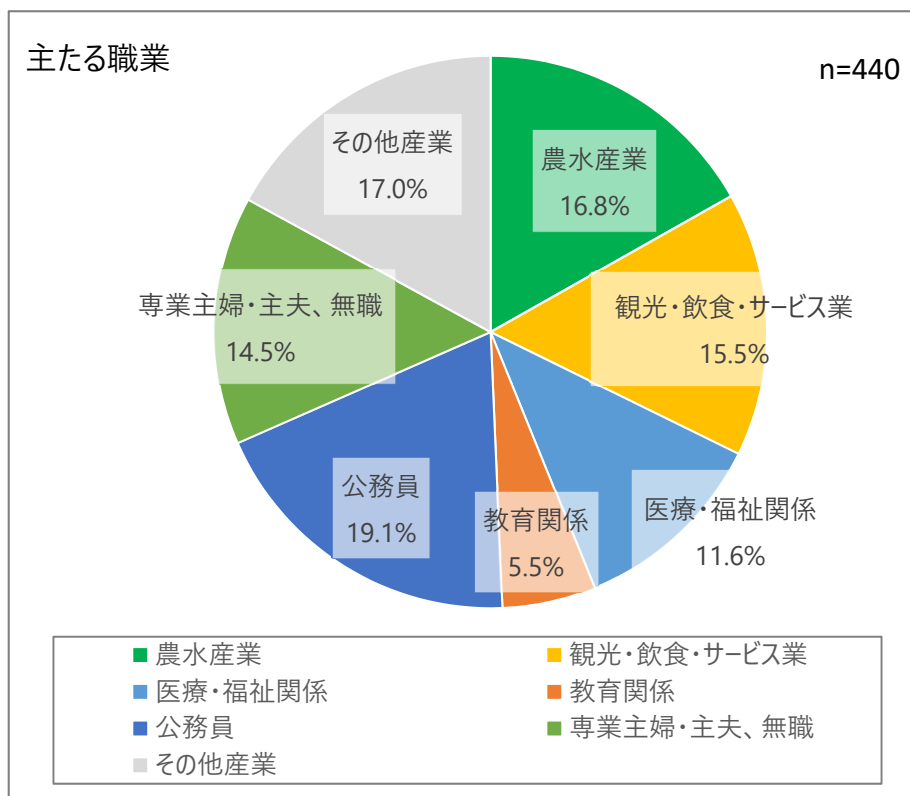
※小学校区分にて集計

1. 住民アンケートの結果

1)回答者の属性

④-1 主たる職業

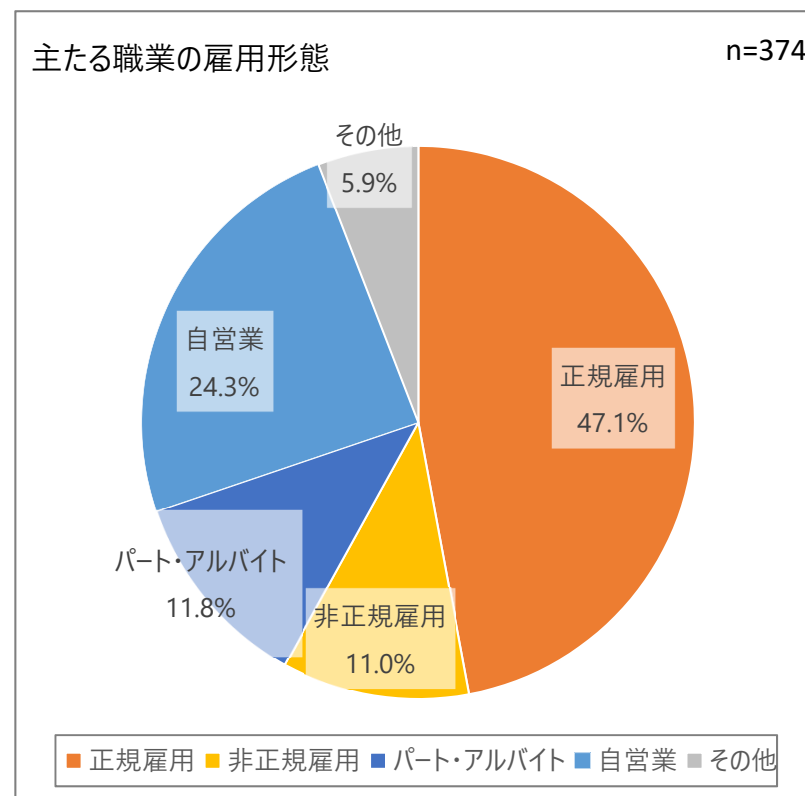
- 公務員が最も多く（19.1%）、次いでその他産業（17.0%）、農水産業（16.8%）、観光・飲食・サービス業となっている。



※その他産業：建設業、製造業、電気・ガス・水道業、情報通信、その他

④-2 主たる職業の雇用形態

- 正規雇用が最も多く（47.1%）、次いで自営業（24.3%）、パート・アルバイトとなっている。

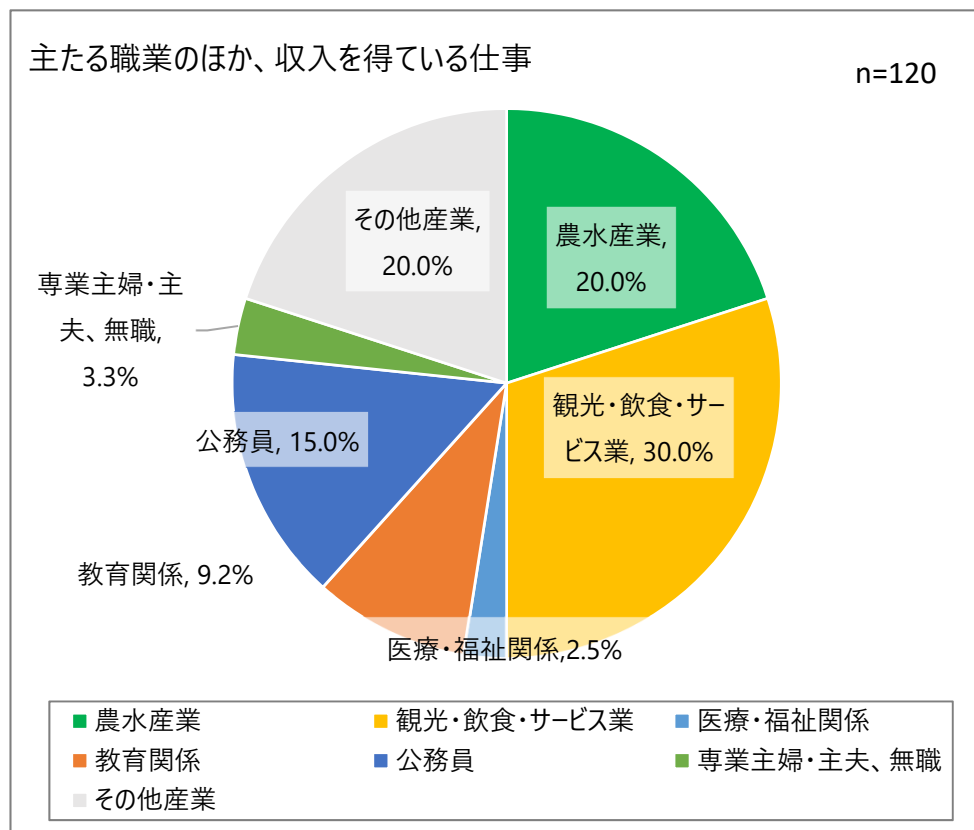


1. 住民アンケートの結果

1) 回答者の属性

④ー3 主たる職業のほか、収入を得ている仕事

- 観光・飲食・サービス業が最も多く（30.0%）、次いで農水産業、その他産業（20.0%）、公務員となっている。

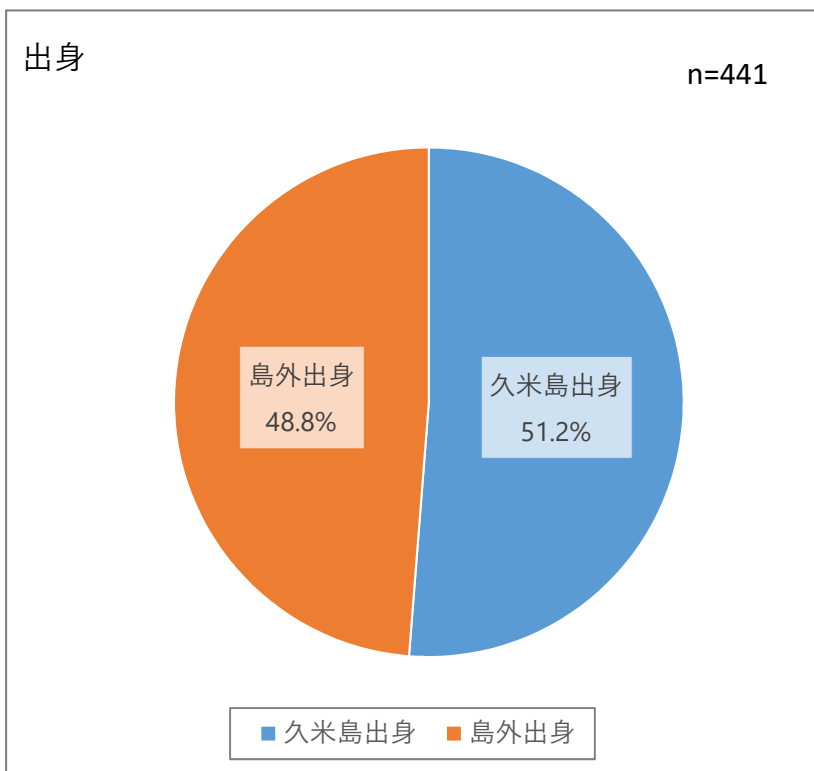


1. 住民アンケートの結果

1)回答者の属性

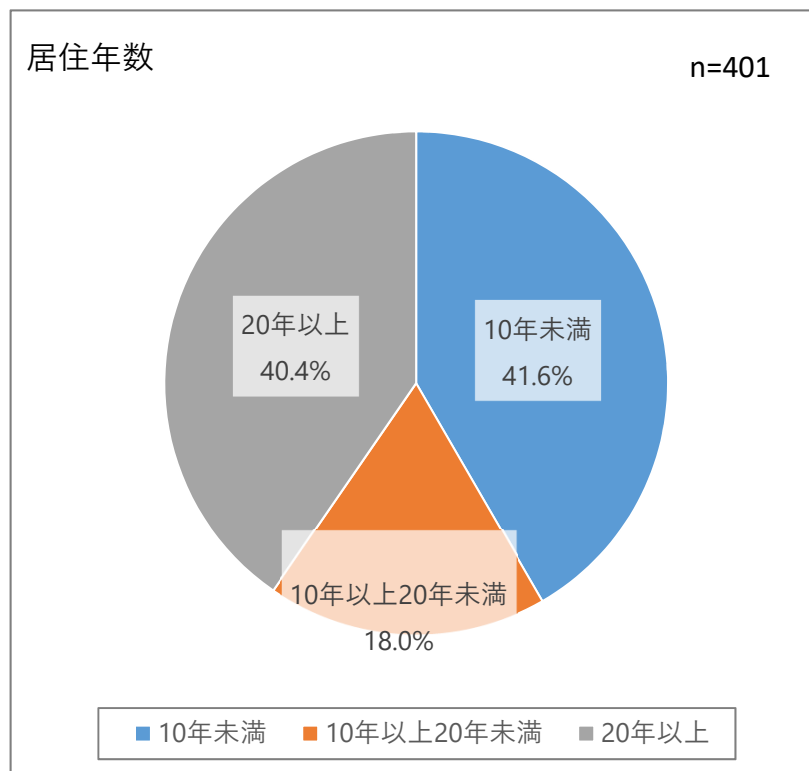
⑤-1 出身

- 久米島出身（51.2%）、島外出身（48.8%）となっている。



⑤-2 居住年数

- 10年未満が最も多く（41.6%）、次いで20年以上（40.4%）、10年以上20年未満となっている。

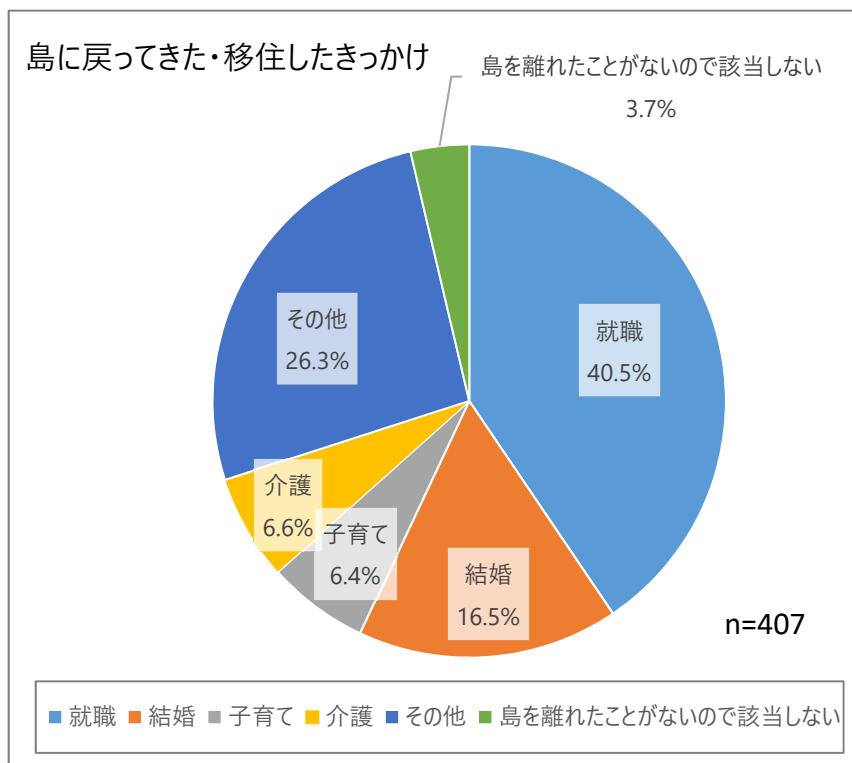


1. 住民アンケートの結果

1)回答者の属性

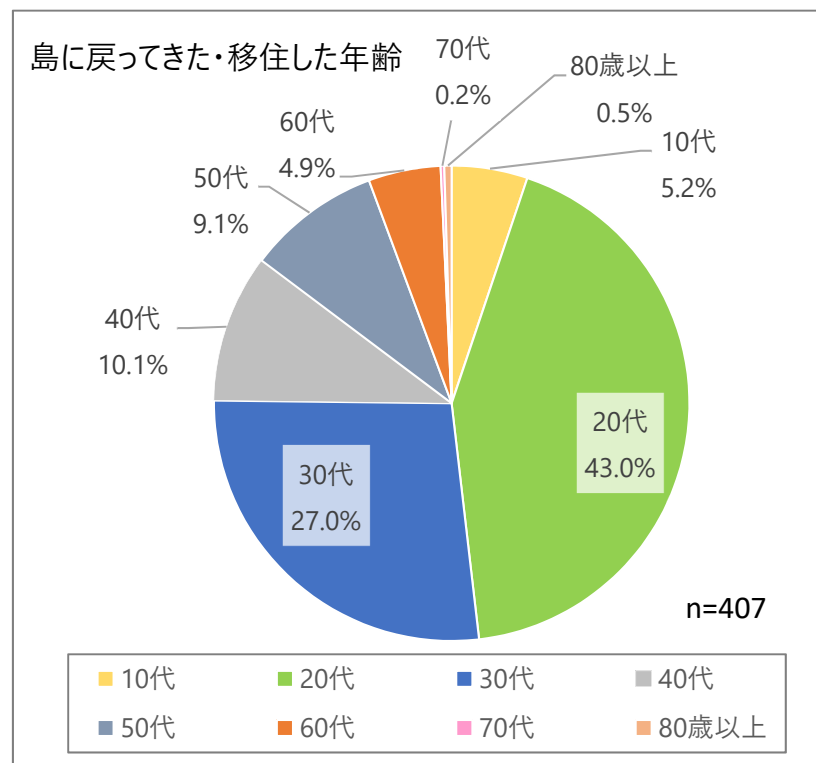
⑤-3 島に戻ってきた・移住したきっかけ

- 就職が最も多く（40.5%）、次いでその他（26.3%）、結婚、介護となっている。



⑤-4 島に戻ってきた・移住した年齢

- 20代が最も多く（43.0%）、次いで30代（27.0%）、40代、50代となっている。

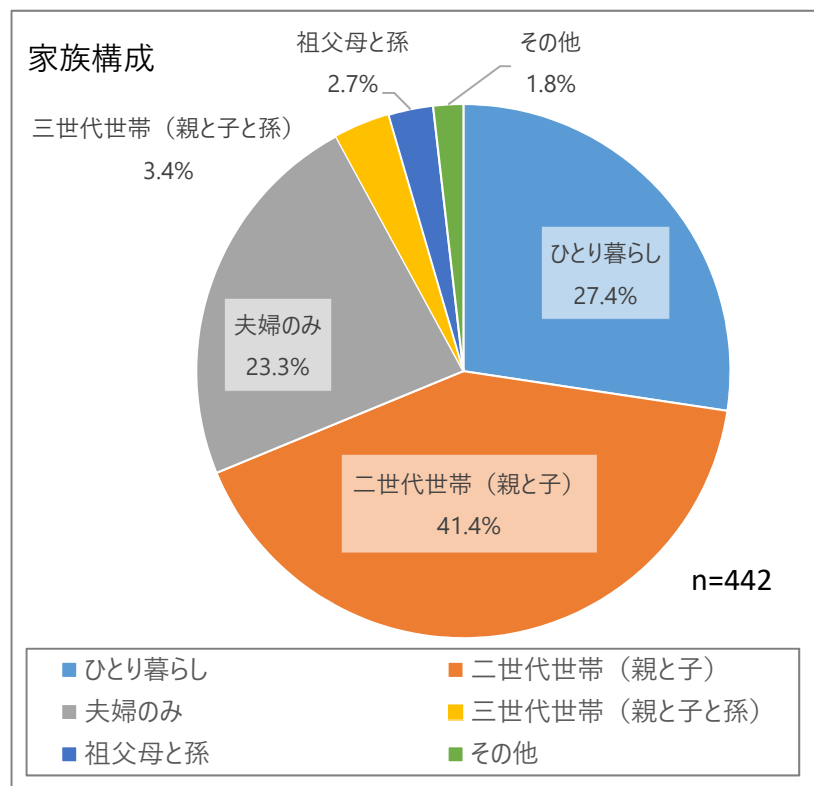


1. 住民アンケートの結果

1)回答者の属性

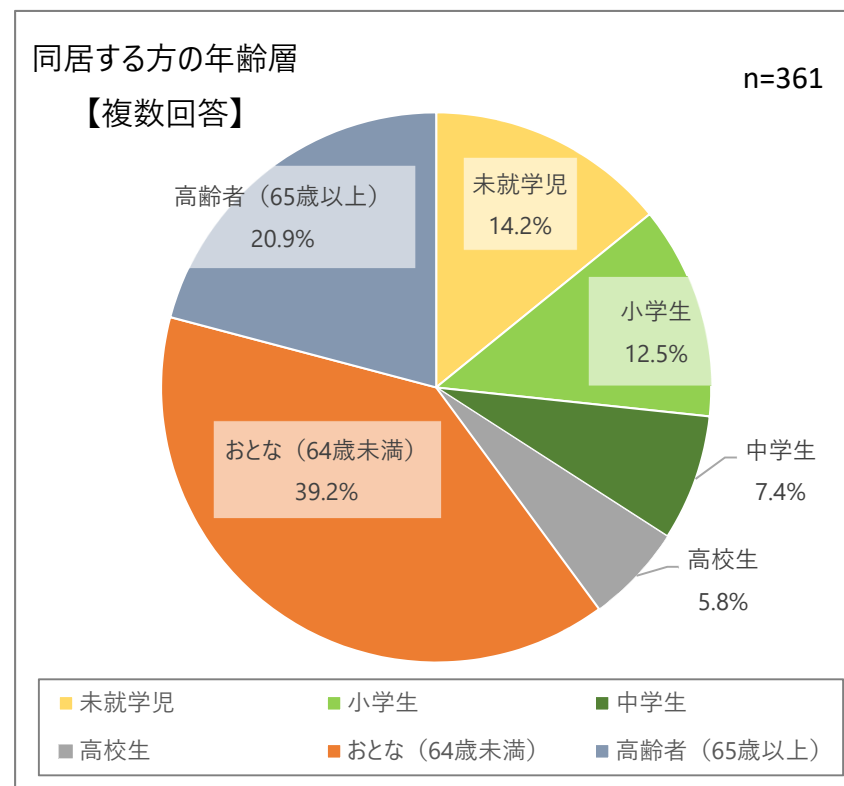
⑥家族構成

- 二世帯世帯が最も多く（41.4%）、ひとり暮らし（27.4%）、夫婦のみ、三世帯世帯となっている。



⑦同居する方の年齢層

- おとな(64歳未満)が最も多く（39.2%）、次いで高齢者（20.9%）、未就学児、小学生となっている。

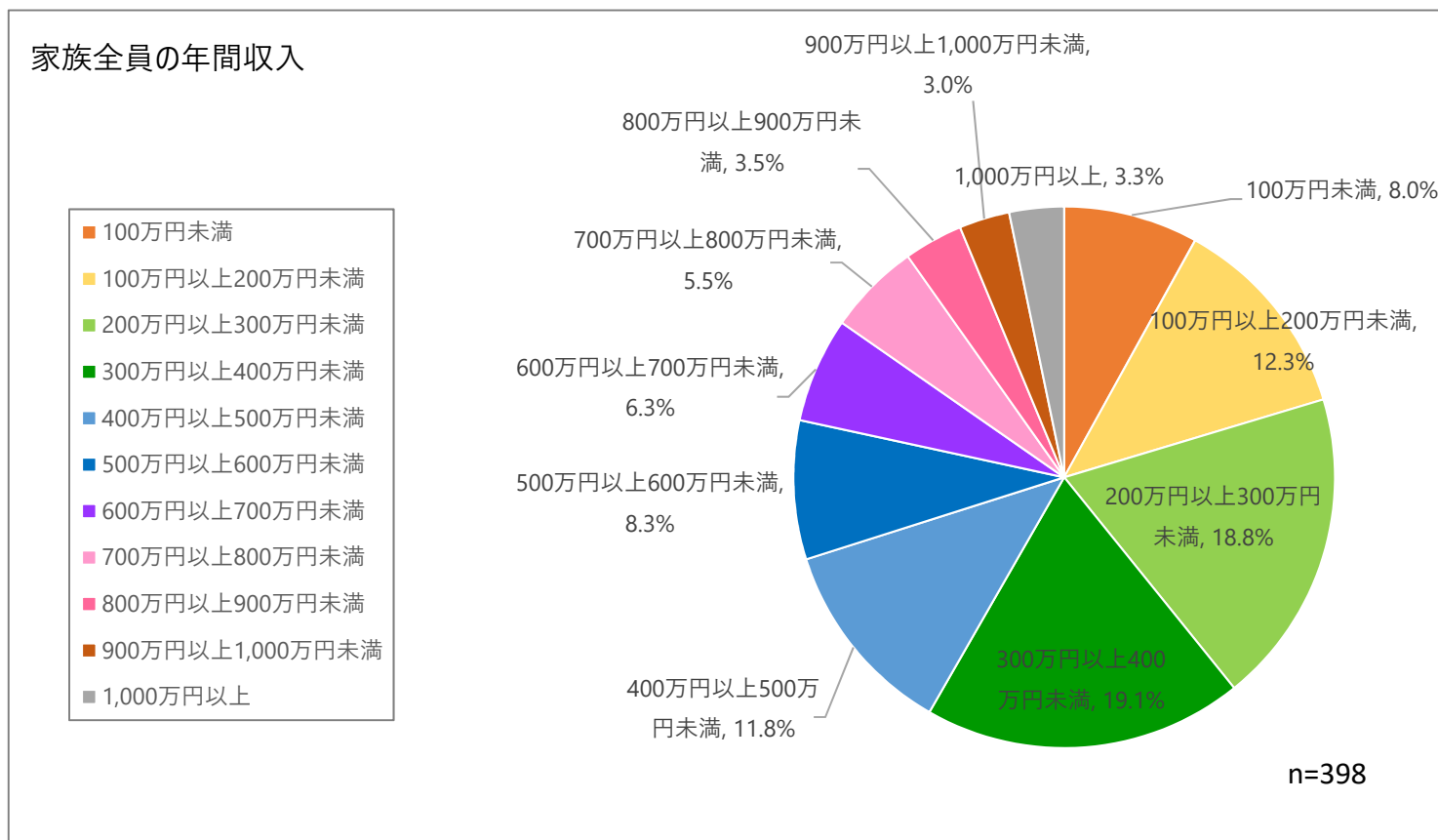


1. 住民アンケートの結果

1) 回答者の属性

⑧ 家族全員の年間収入

- 300万円以上400万円未満が最も多く（19.1%）、次いで200万円以上300万円未満（18.8%）、100万円以上200万円未満（12.3%）となっており、世帯年収400万未満が58.2%と半数以上となっている。

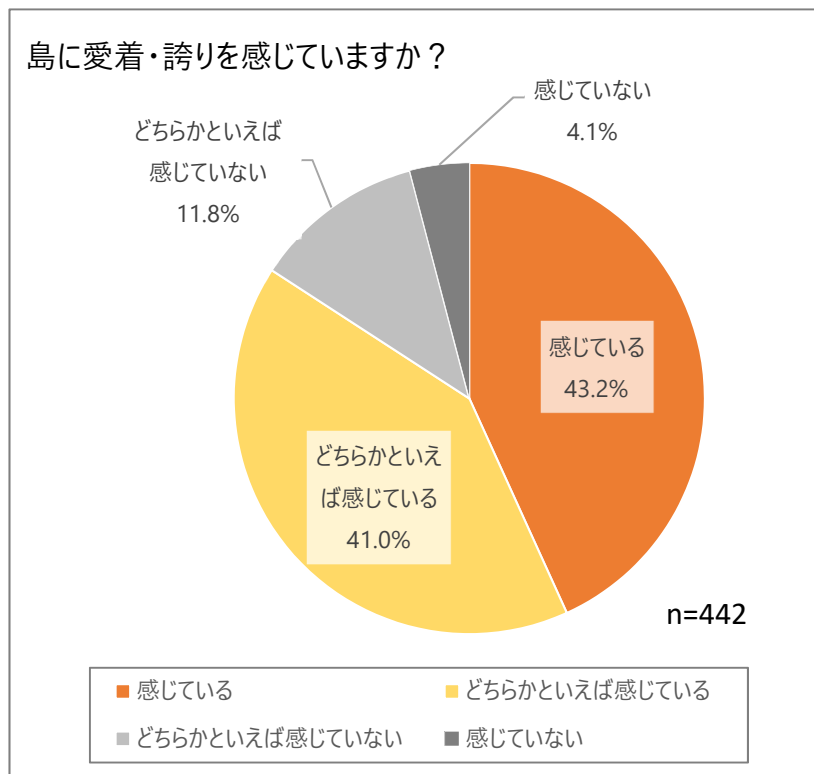


1. 住民アンケートの結果

2) 久米島の暮らしについて

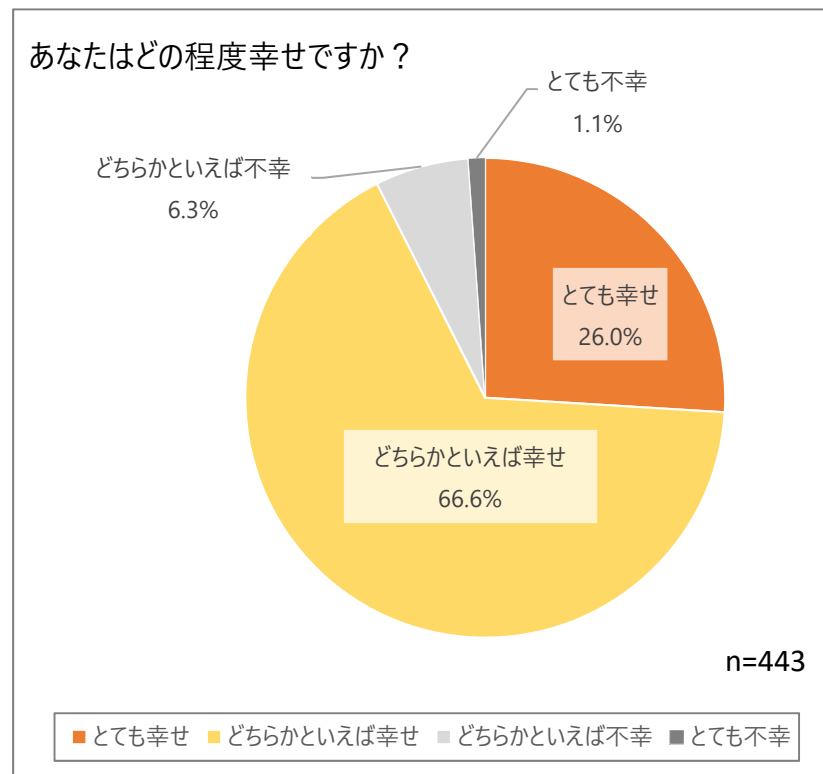
⑨ 島に愛着・誇りを感じていますか？

- 感じているが最も多く（43.2%）、どちらかといえば感じている（41.0%）と、8割以上が島へ愛着・誇りを感じている結果となっている。



⑩ あなたはどの程度幸せですか？

- どちらかといえば幸せが最も多く（66.6%）、次いでとても幸せ（26.0%）と、9割以上が幸せを感じている結果となっている。

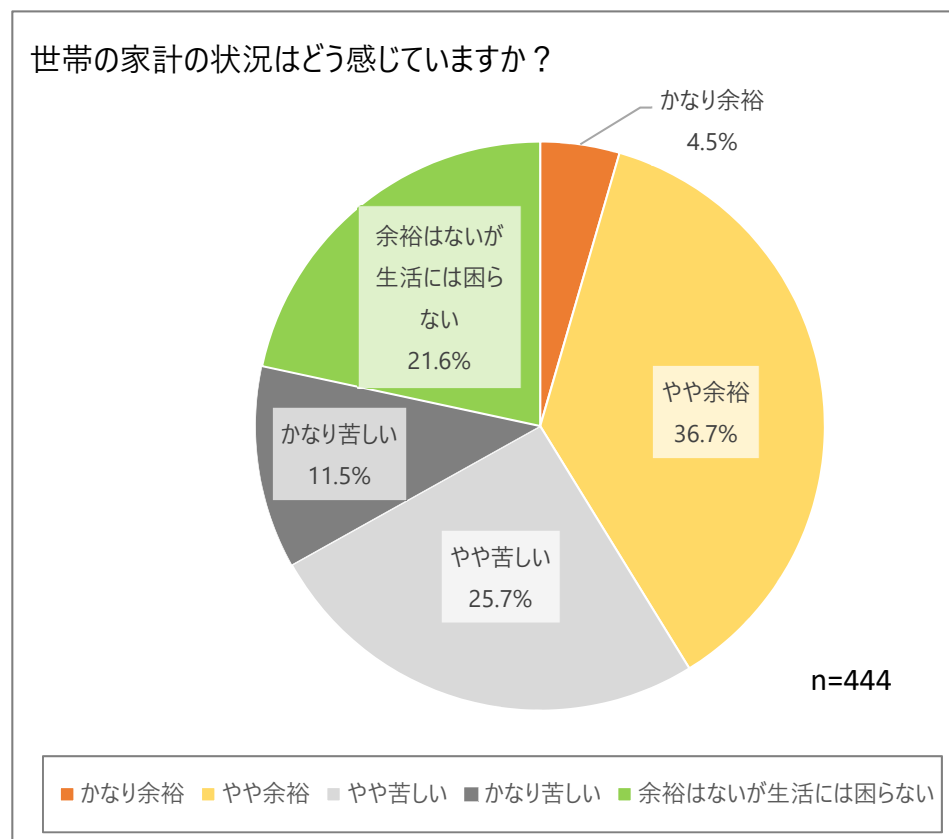


1. 住民アンケートの結果

2) 久米島の暮らしについて

⑪ 世帯の家計の状況はどう感じていますか？

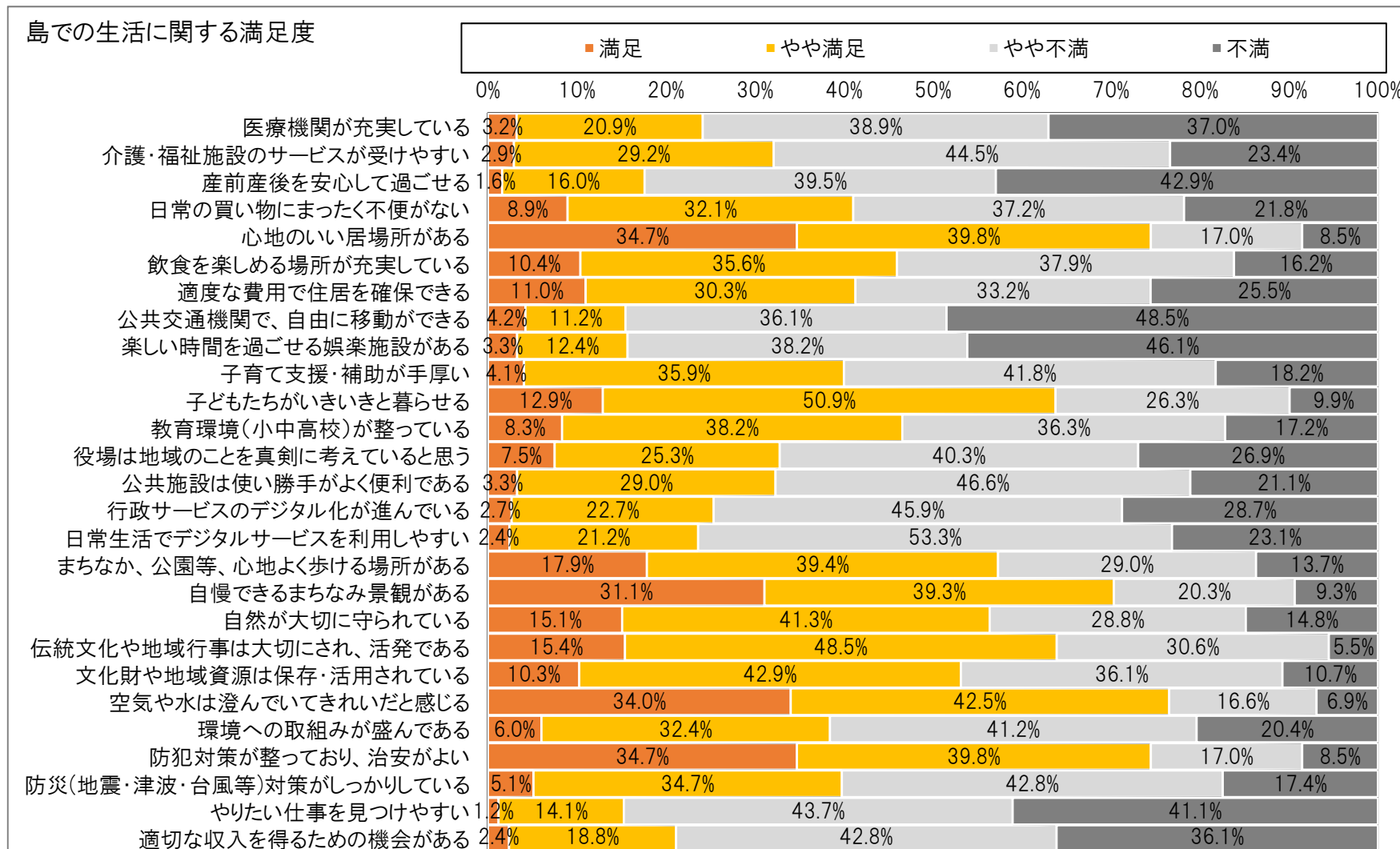
- やや余裕が最も多く（36.7%）、やや苦しい（25.7%）、余裕はないが生活には困らない（21.6%）となっている。



1. 住民アンケートの結果

⑫島での生活に関する満足度

- 27項目のうち「満足」「ほぼ満足」のほうが多い項目は9項目。「やや不満」「不満」のほうが多い項目は、18項目
- 最も満足度の高い項目は、「⑫空気や水は澄んでいてきれいだと感じる」、満足度の最も低い項目は「⑧公共交通機関で、自由に移動ができる」

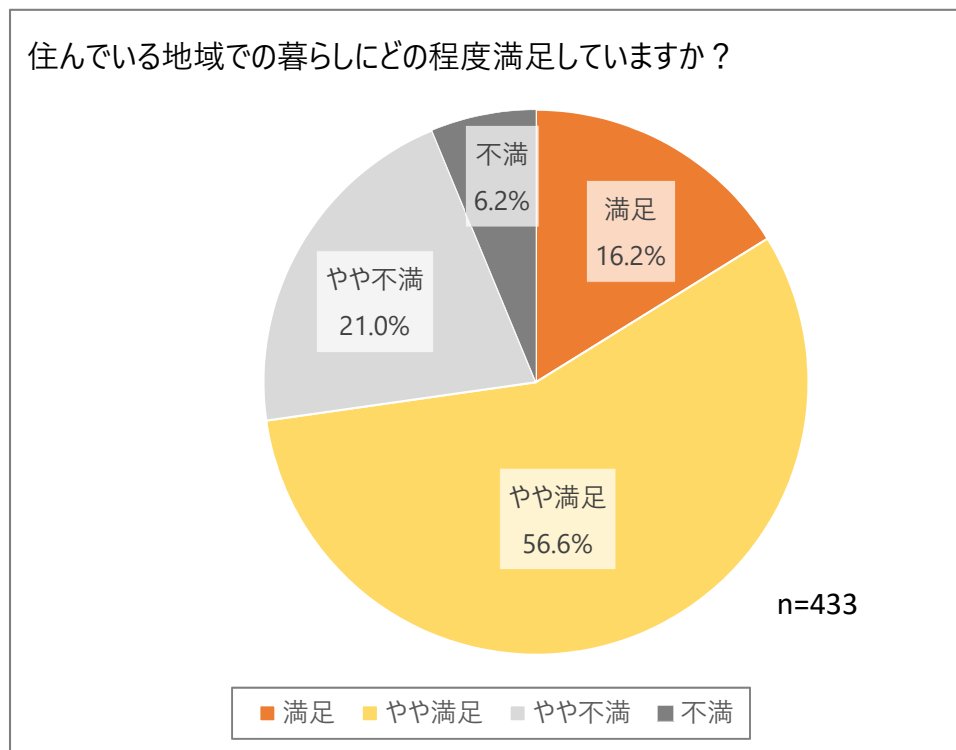


1. 住民アンケートの結果

2) 久米島の暮らしについて

⑬住んでいる地域での暮らしにどの程度満足していますか？

- “やや満足”が最も多く56.6%、“満足”の割合と合わせると72.8%となっている。



1. 住民アンケートの結果

2) 久米島の暮らしについて

自由意見については、今後テキストマイニング分析等で計画立案の参考とします。
テキストマイニングの結果は、第3回審議会にて提示する予定です。

⑭島の暮らしで“良いところ”、“改善してほしいところ”(抜粋)

●良いところ

- 海がとても綺麗
- 自然が豊か。
- のんびりしたところ、静かなところ。
- 島の方が温かい、ご近所との距離がいい意味で近い。
- ゆいまーる、互助の精神があるところ
- 内地にはないらしさが体験できる。
- 治安が良い

●改善してほしいところ

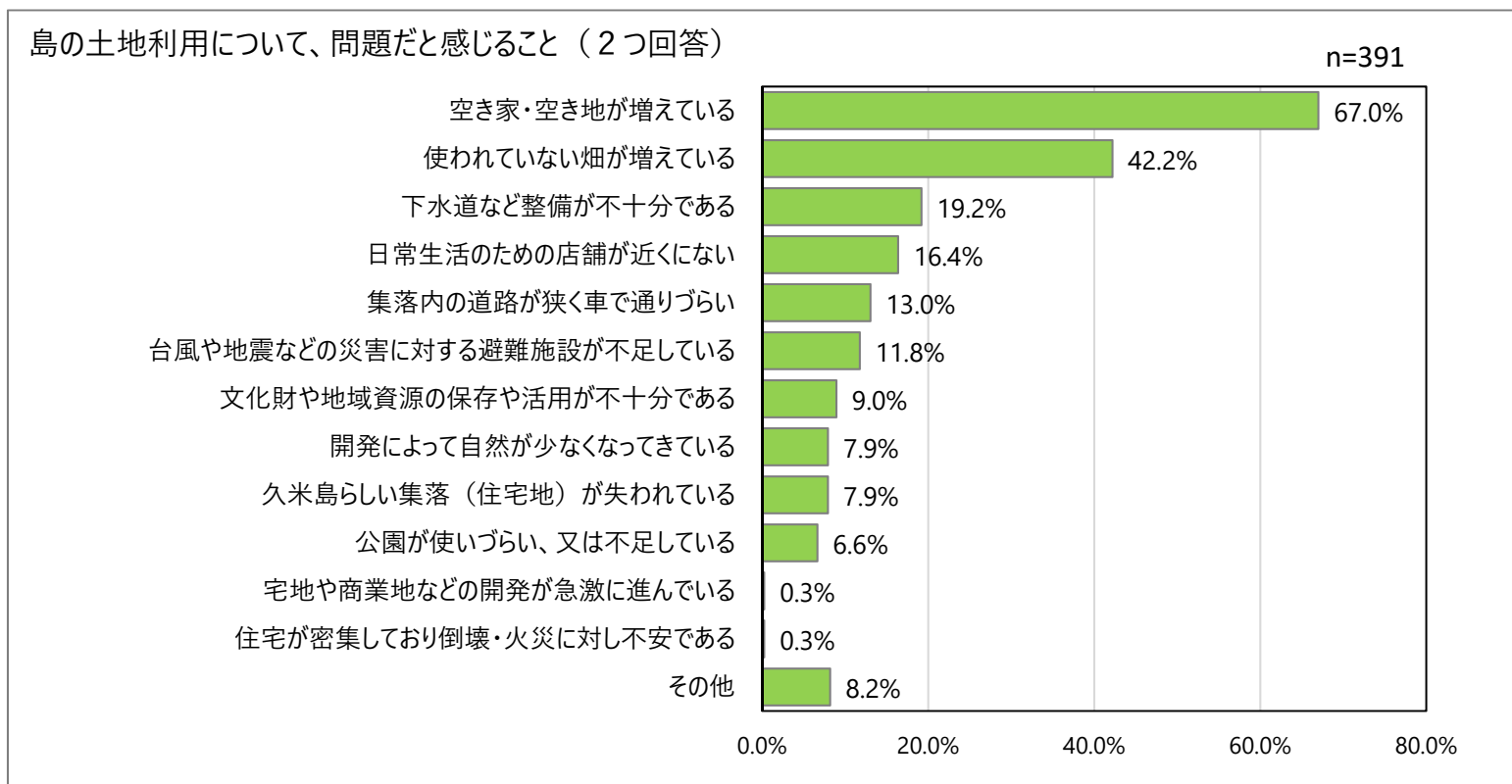
- 住環境やインフラの整備（空き家対策、交通の利便性）
- ゴミや雑草、赤土流出などの環境問題
- 医療機関の充実
- 買い物のできる施設を増やして欲しい
- 住民同士の支えあい、高齢者への配慮
- 子育て支援
- 人口減少への対策（移住者や観光）

1. 住民アンケートの結果

3) 久米島の土地利用について

⑮島の土地利用についての問題点

- 「空き家・空き地が増えている」が最も多く（67.0%）、「使われていない畑が増えている」（42.2%）、「下水道など整備が不十分である」となっている。

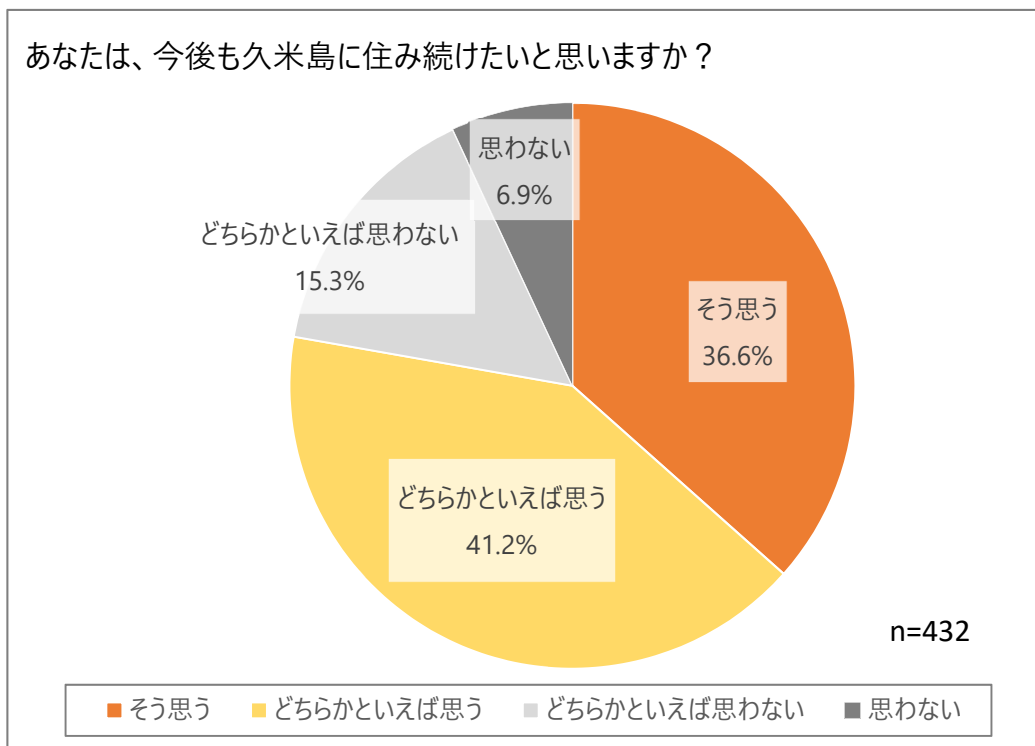


1. 住民アンケートの結果

4) 持続可能な島づくりに向けて

⑩ 今後も久米島に住み続けたいか

- “どちらかといえば思う”が最も多く（41.2%）、“そう思う”（36.6%）の割合と合わせると7割を超えている。

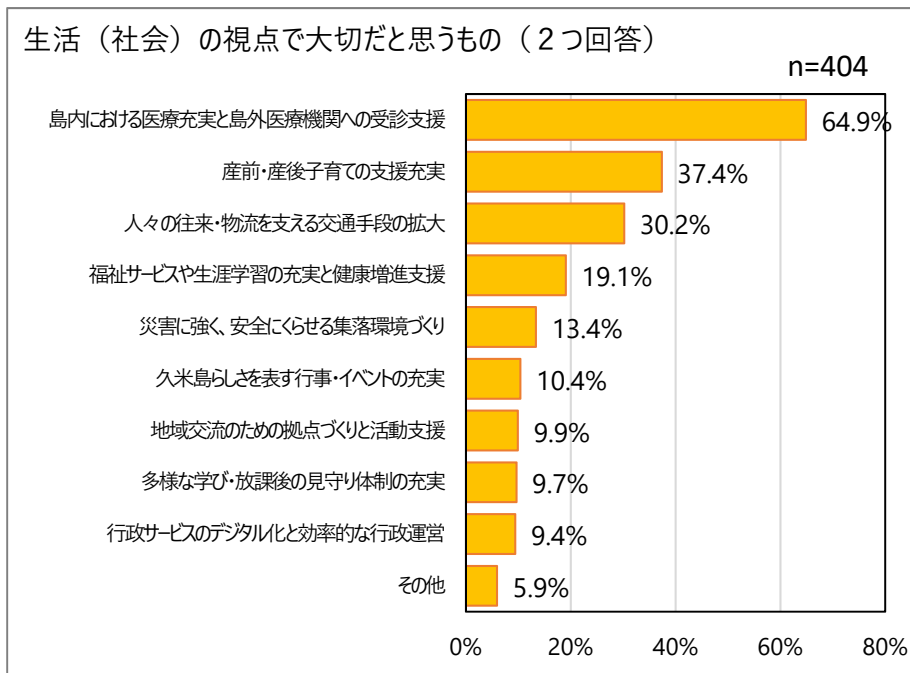


1. 住民アンケートの結果

4) 持続可能な島づくりに向けて

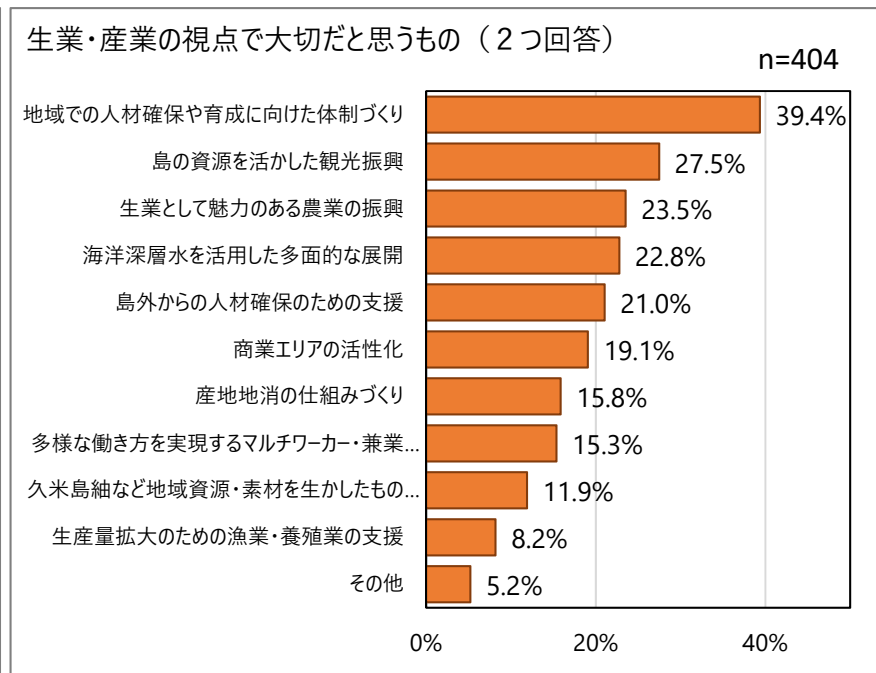
⑰-1 生活(社会)の視点で大切な項目

- 「島内における医療充実と島外医療機関への受診支援」が最も多く(64.9%)、「産前・産後子育ての支援充実」(37.4%)、「人々の往来・物流を支える交通手段の拡大」となっている。



⑰-2 生業・産業(経済)の視点で大切な項目

- 「地域での人材確保や育成に向けた体制づくり」が最も多く(39.4%)、「島の資源を活かした観光振興」(27.5%)、「生業として魅力のある農業の振興」となっている。

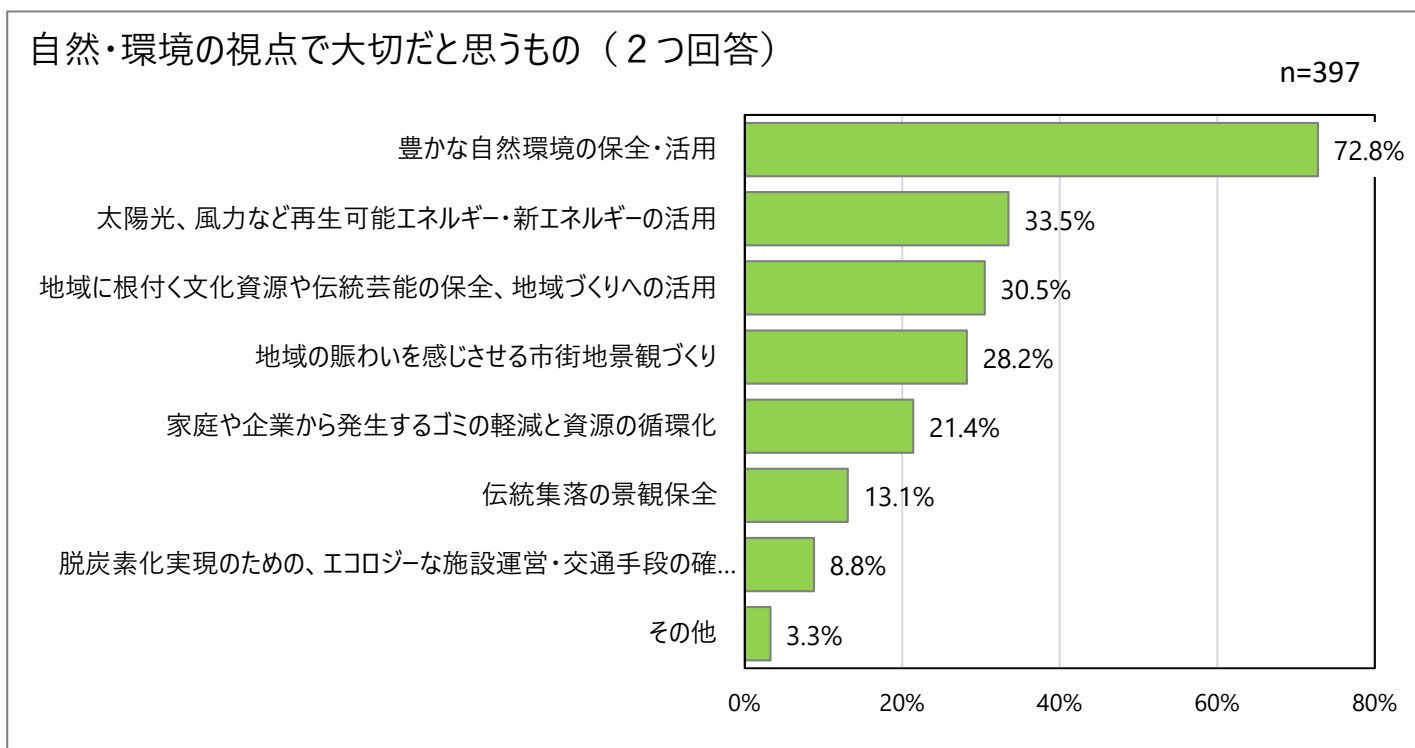


1. 住民アンケートの結果

4) 持続可能な島づくりに向けて

⑰-3 自然・環境の視点で大切だと思うもの

- 「豊かな自然環境の保全・活用」が最も多く（72.8%）、「太陽光、風力など再生可能エネルギー・新エネルギーの活用」（33.5%）、「地域に根付く文化資源や伝統芸能の保全、地域づくりへの活用」となっている。



1. 住民アンケートの結果

5)久米島らしさについて

自由意見については、今後テキストマイニング分析等で計画立案の参考とします。
テキストマイニングの結果は、第3回審議会にて提示する予定です。

⑱あなたが思う・感じている「久米島らしさ(ひと・もの・こと)」について(抜粋)

●久米島出身者の回答

【自然環境】

- 海が素晴らしい
- 自然豊かでのんびりできる
- 島の成り立ち

【人間関係】

- 人と人とのつながりが強い
- 人情があって、助け合いの精神がある

【地域資源】

- 名勝、城跡など歴史的な文化財
- 角力などの伝統行事
- 久米島紬

【その他】

- 「球美の島」
- 沖縄本島から交通の便が良い
- 生活に必要な最小限が揃っている
- 発展しすぎていない、ちょうどよいコンパクトさ

●島外出身者の回答

【自然環境】

- 海、山、星などの自然がきれい
- 固有種がたくさん、空気がきれい

【人間関係】

- 人々が親切であたたかい、おおらかさ
- 誰でも受け入れてくれる

【地域資源】

- 伝統文化、行事を大切にしている
- クルマエビなど島の産物がおいしい

【その他】

- 多少の不便、不満はあるが住めば都
- 都会すぎず田舎すぎない
- リゾート化されていないちょうど良さ
- のんびりしすぎていて変化が無い

1. 住民アンケートの結果

6) 未来の久米島の創造

自由意見については、今後テキストマイニング分析等で計画立案の参考とします。
テキストマイニングの結果は、第3回審議会にて提示する予定です。

①9 30～50年後に求める久米島像(抜粋)

●久米島出身者の回答

【自然環境】

- 自然がそのまま残っていて欲しい、自然との共生
- 赤土問題の改善

【生活環境】

- ゴミ問題、空き家問題の改善
- 教育、医療環境、福祉の充実で安心して暮らせる
- 気軽に帰ってこれるような来島手段
- 安定した物資の確保、地産地消

【産業振興】

- 企業誘致、研究機関との連携、深層水を活用した産業や商品展開で雇用拡大
- 豊かな土壌、豊富な農作物
- 観光客をもっと呼び込む、一次産業×観光

【人、まち】

- 人口減少しても若者や子どもで活気があり、生き生きと暮らせる島
- 島民と移住者との交流
- 地域コミュニティの充実、共助しあえる島
- 伝統行事を大事にしている

1. 住民アンケートの結果

6) 未来の久米島の創造

自由意見については、今後テキストマイニング分析等で計画立案の参考とします。
テキストマイニングの結果は、第3回審議会にて提示する予定です。

⑳ 今後10年間で大事だと思うこと(抜粋)

●自分ができること
<ul style="list-style-type: none">島外に対しての情報発信島に住み続けるビーチクリーンやゴミ拾いをする。なるべく家庭ごみを出さない。地域行事に参加したり、移住者同士で意見交換をする。人との繋がりを大事にする。島に居る人たちを大切にしながら、新しく来た方をあたたかく迎える。公助ばかりに頼らないでも生活できるようにする。島の現状を自分事として捉える
●身近な地域（共同）でできること
<ul style="list-style-type: none">環境への取り組みを強化する。清掃活動子育て支援の活動を活発化させる。地域活動への参加、近所づきあい、公民館の利活用集落内の清掃、緑花活動、定例ビーチクリーンゆいまーる（仲間づくり）
●しま全体でできること
<ul style="list-style-type: none">SNSを利用した情報発信自然と共生できる街づくりバーデハウスの改修、活用人材育成行政力を高めること。見える化Uターン者、移住者を受け入れる住宅の整備

2. アンケートのクロス集計結果

■クロス集計における属性再編について

クロス集計では各属性による回答傾向を分析するため、下記の通り選択肢を束ねて再編し、各属性の母集団数に大きく偏りが無いように調整して集計している。

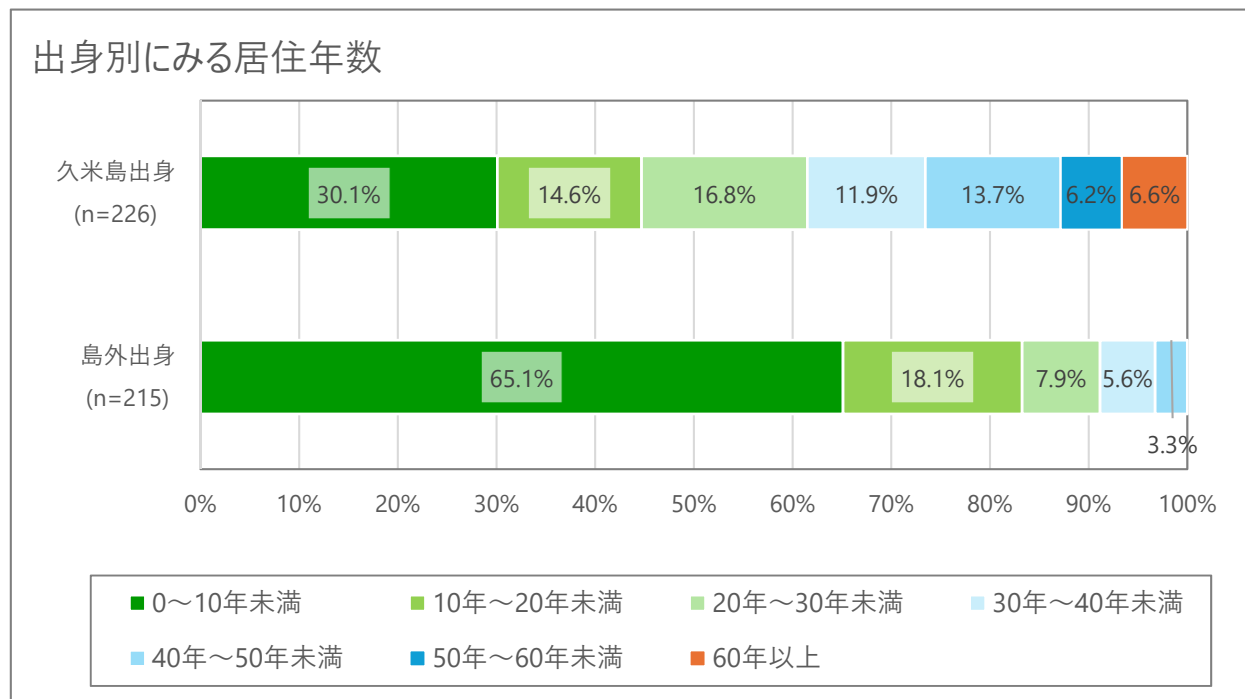
- 年齢 : 10-20代、30-40代、50-60代、70代以上
- 居住地域 : 小学校区
- 職業 : 農水産業、観光・飲食・サービス業、医療・福祉関係、教育関係、公務員、専業主婦・主夫、無職、その他産業
- 年間収入 : 200万未満、200-300万、300-400万、400-500万、500万以上

2. アンケートのクロス集計結果

1) 居住経緯に関するクロス集計結果

① 問5-1×問5-2 出身別に見る居住年数

- 居住年数が20年未満の割合をみると、久米島出身は44.7%と半数以下に対して、島外出身は83.2%となる。
- 一方、居住年数が50年以上の割合は、島外出身は回答無し、久米島出身は12.8%となっている。

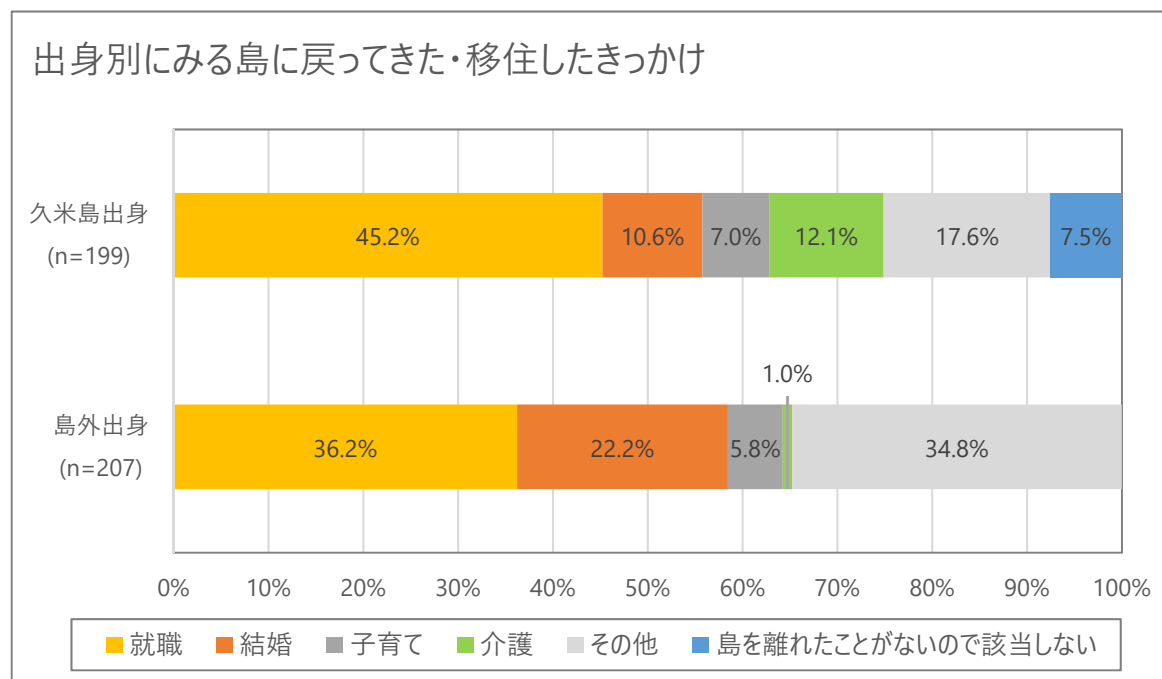


2. アンケートのクロス集計結果

1) 居住経緯に関するクロス集計結果

② 問5-1×問5-3 出身別にみる島に戻ってきた・移住したきっかけ

- 久米島出身、島外出身ともに最も多いのは“就職”となっている。
- 次いで、久米島出身で多いのは“介護”（12.1%）、“結婚”（10.6%）となる。
- 島外出身は、2番目に多いのは“結婚”（22.2%）、“子育て”（5.8%）となる。

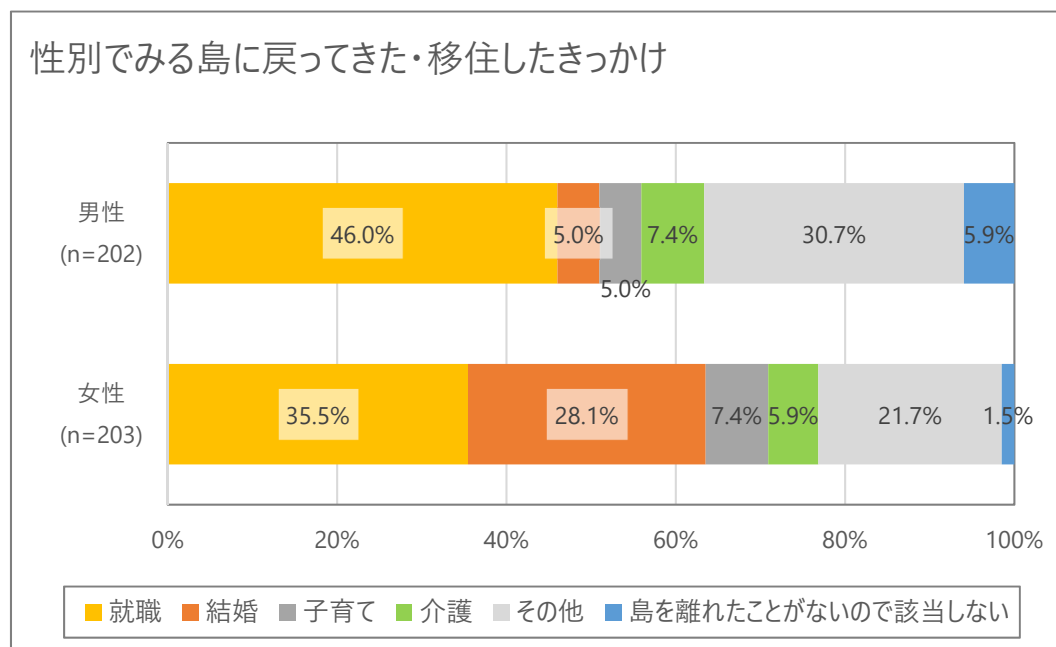


2. アンケートのクロス集計結果

1) 居住経緯に関するクロス集計結果

③ 問2×問5-3 性別でみる島に戻ってきた・移住したきっかけ

- 男女ともに最も多いのは“就職”となっている。
- 次いで、男性は“就職”が46.0%と半数程度を占め、“介護”が7.4%、“結婚”“子育て”が共に5.0%となる。
- 一方、女性は“就職”が2番目に多く35.5%、“結婚”28.1%、“子育て”7.4%となる。

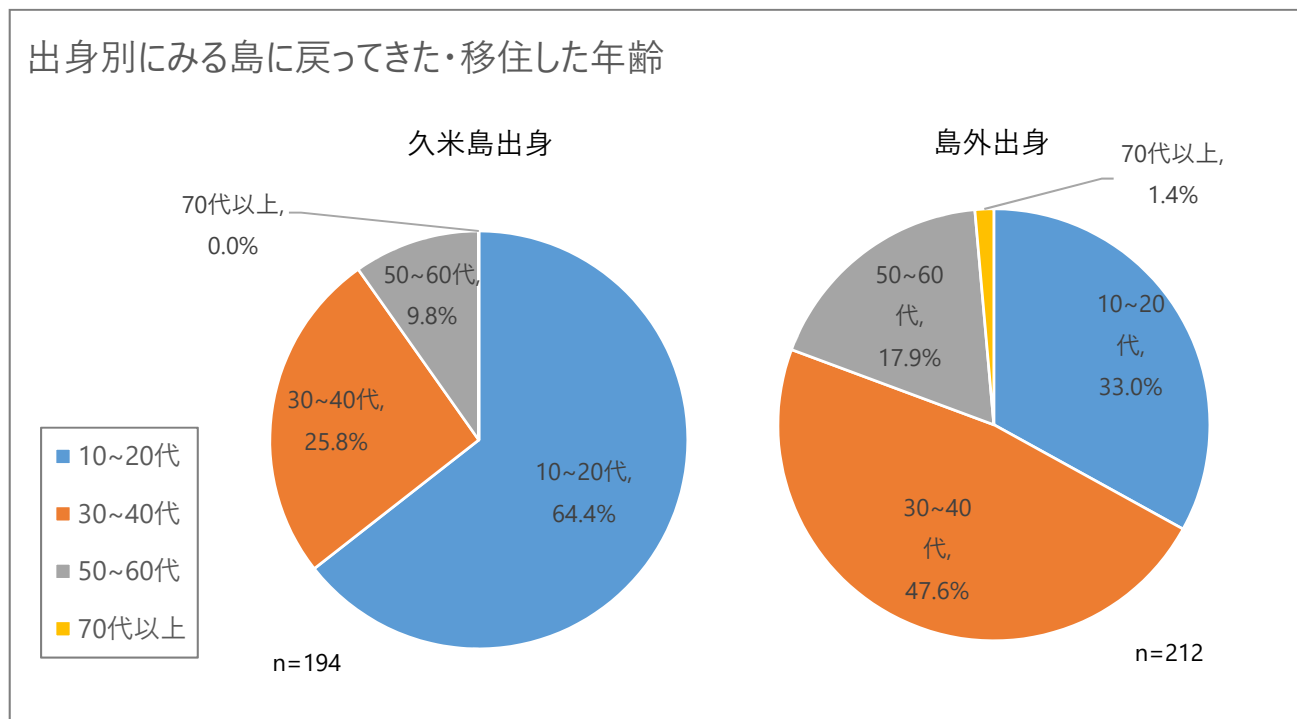


2. アンケートのクロス集計結果

1) 居住経緯に関するクロス集計結果

④ 問5-1×問5-4 出身別にみる島に戻ってきた・移住した年齢

- 久米島出身で最も多いのは、“10～20代”で6割以上を占める。次いで“30～40代”25.8%。
- 島外出身で最も多いのは、“30～40代”で約半数程度となる。次いで“10～20代”33.0%。

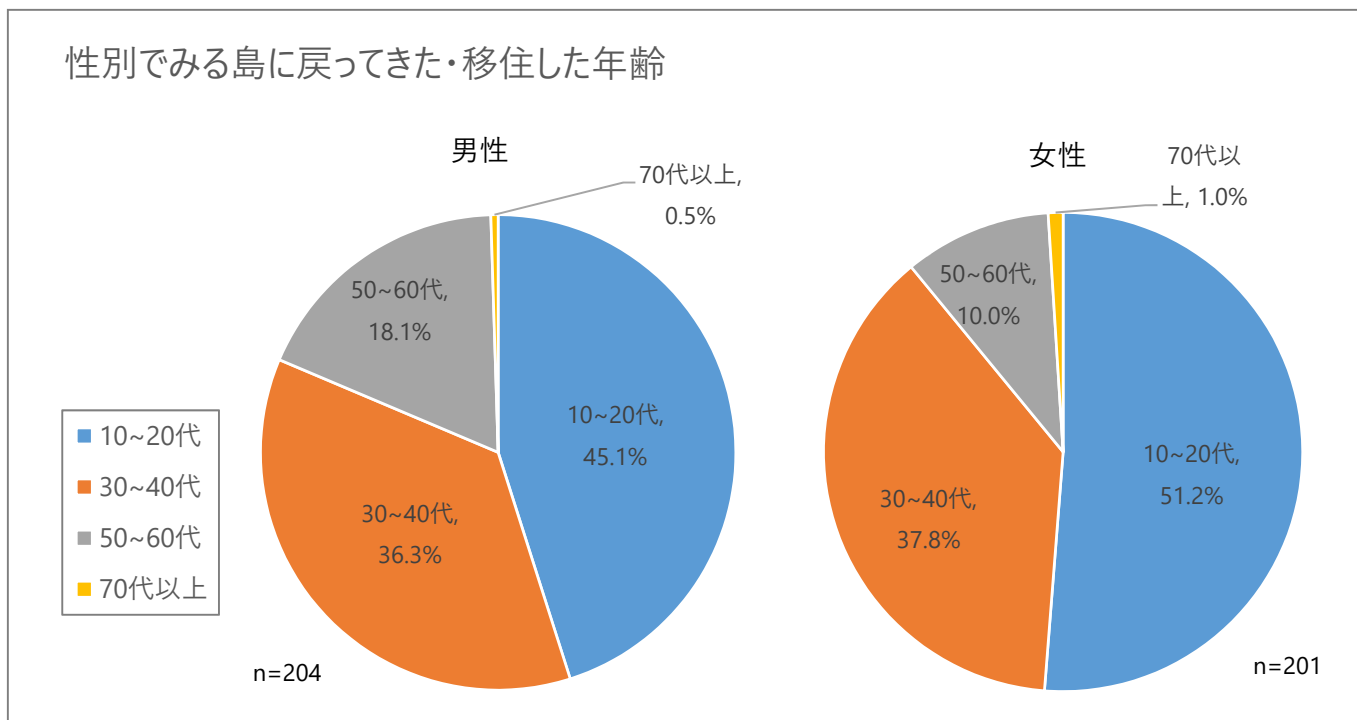


2. アンケートのクロス集計結果

1) 居住経緯に関するクロス集計結果

⑤ 問2×問5-4 性別でみる島に戻ってきた・移住した年齢

- 男女ともに最も多いのは、“10～20代”で半数程度を占める。次いで“30～40代”が4割弱。

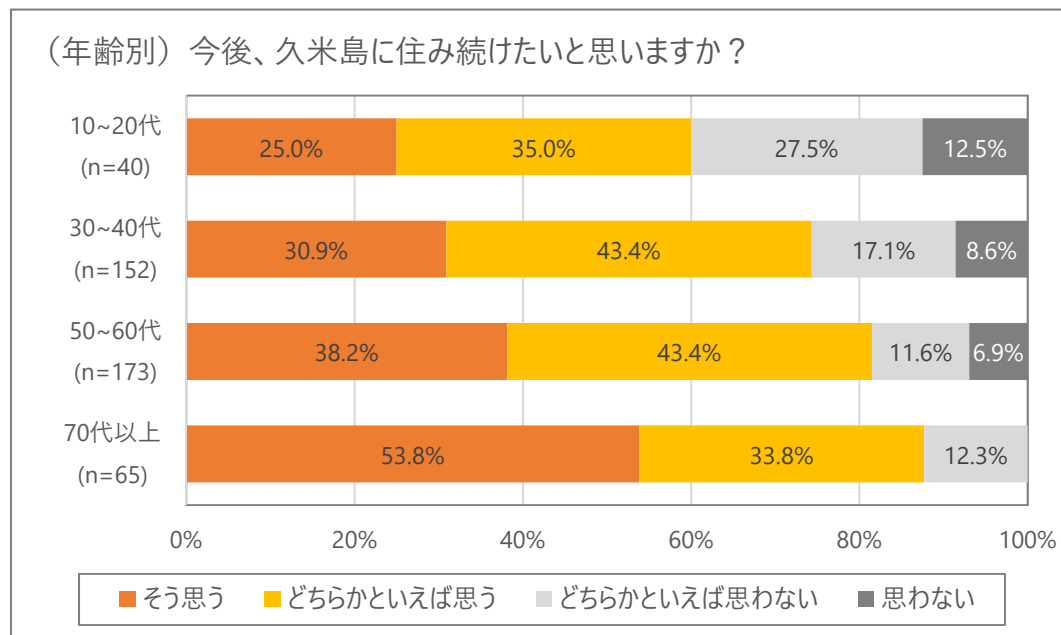


2. アンケートのクロス集計結果

2) 居住意向に関するクロス集計結果

① 問1×問16 (年齢別) 今後、久米島に住み続けたいと思いますか？

- 年齢が上がるにつれ、定住意思の割合が高くなっており、50代以上の8割超が今後も住み続けたい傾向にある。

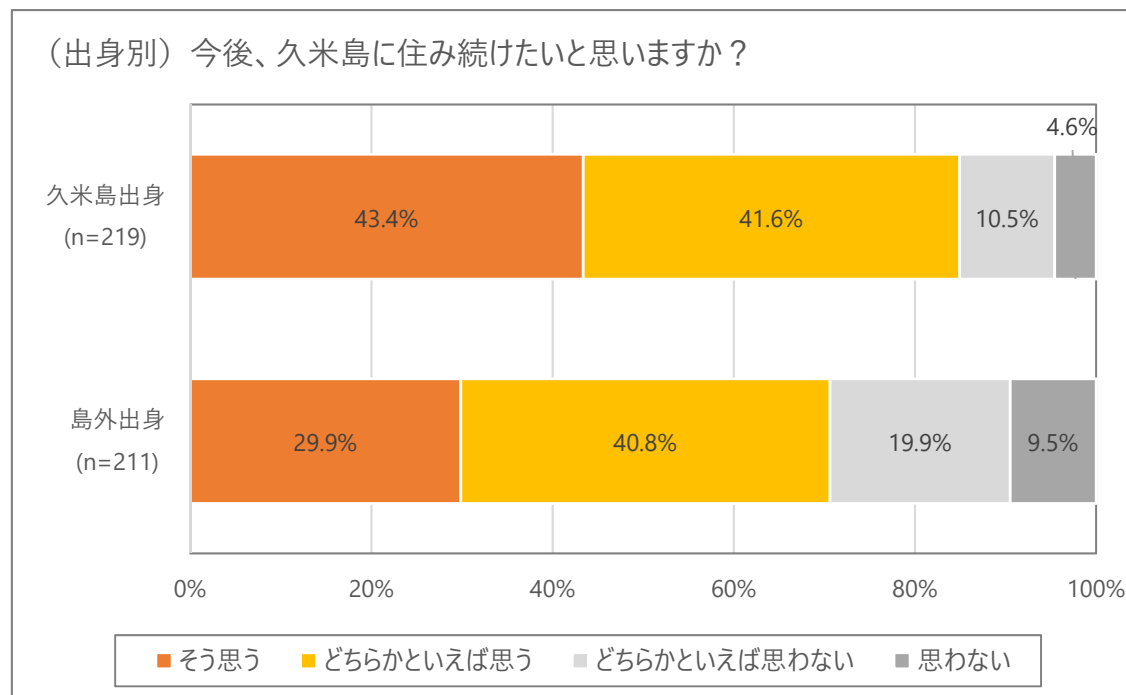


2. アンケートのクロス集計結果

2) 居住意向に関するクロス集計結果

② 問5-1×問16 (出身別)今後、久米島に住み続けたいと思いますか？

- 久米島出身で“そう思う” “どちらかといえば思う” と回答したのは合わせて85%となる。
- 島外出身で“そう思う” “どちらかといえば思う” と回答したのは合わせて70.7%となる。

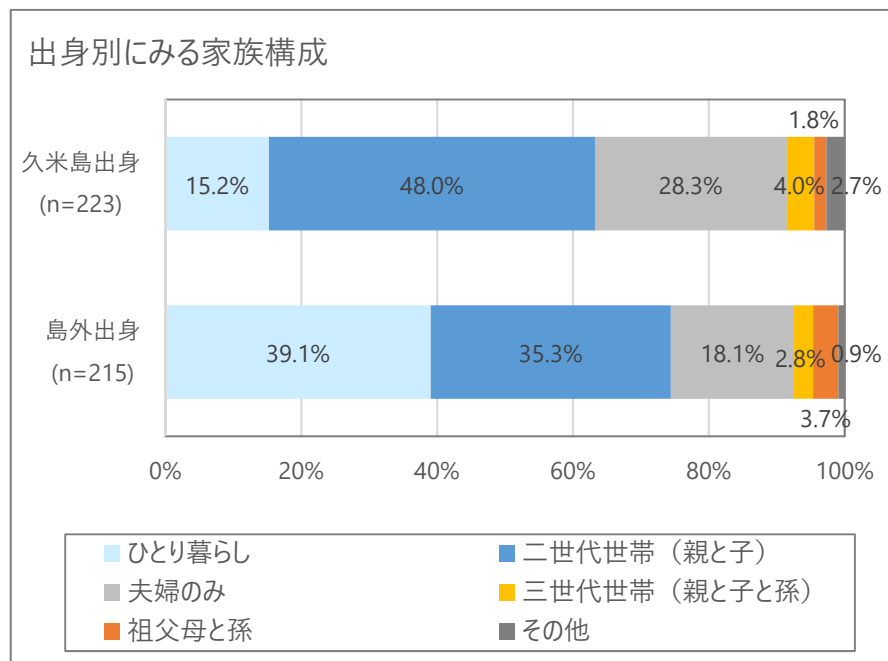


2. アンケートのクロス集計結果

3) 居住状況に関するクロス集計結果

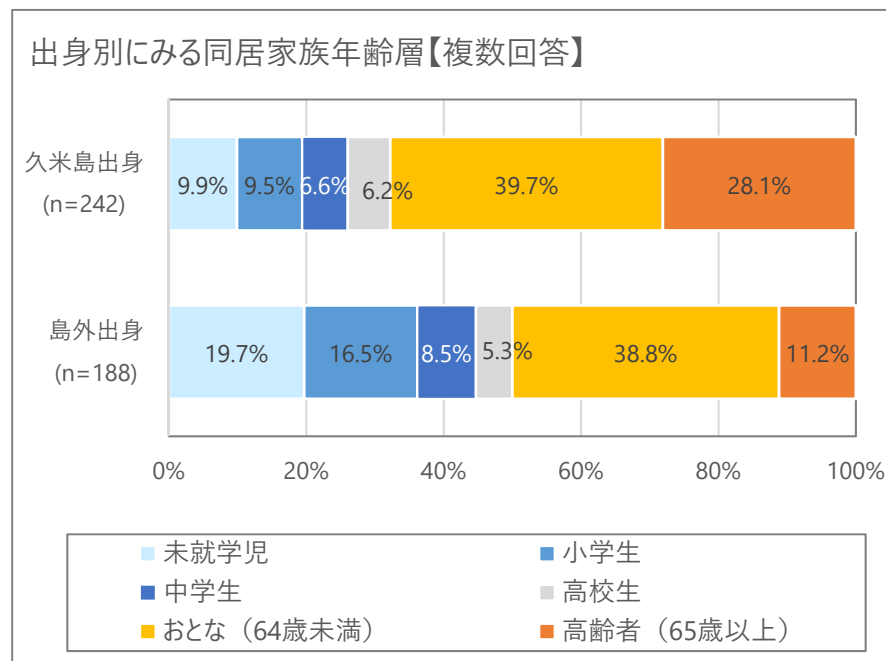
① 問5-1×問6 出身別に見る家族構成

- 久米島出身で最も多いのは、“二世世代世帯（親と子）” 48.0%。次いで“夫婦のみ” 28.3%。
- 島外出身で最も多いのは“ひとり暮らし” 39.1%。次いで“二世世代世帯（親と子）” 35.3%。



② 問5-1×問7 出身別に見る同居家族年齢層

- 久米島出身で成人の割合は、67.8%。うち高齢者が28.1%となる。
- 島外出身は成人と未成年の割合がほぼ半々となり、未就学児が19.7%と約2割を占める。

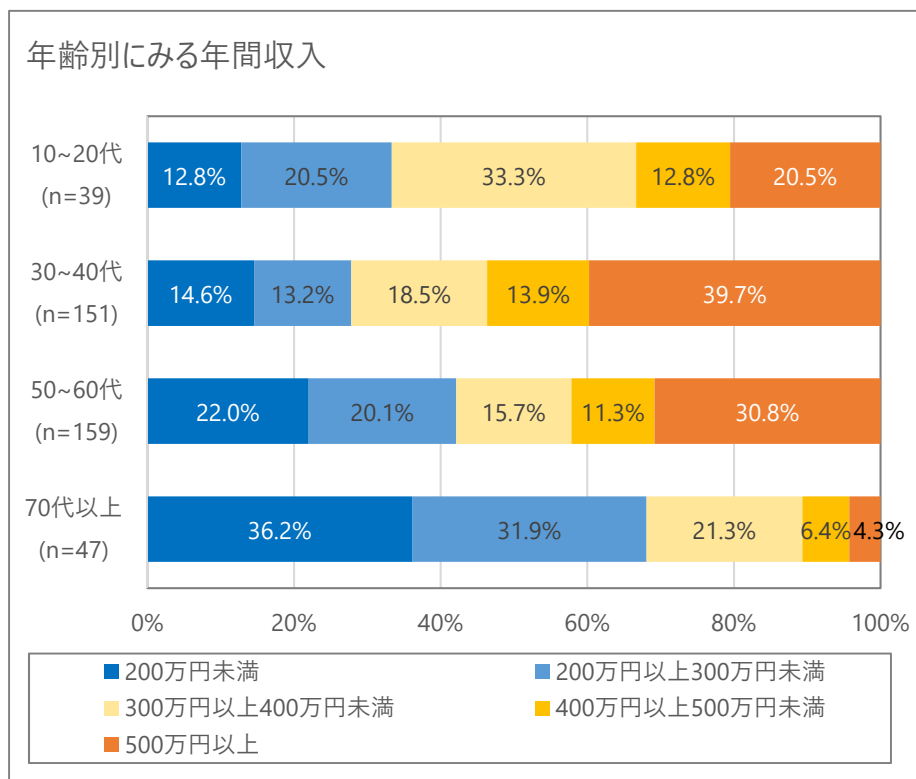


2. アンケートのクロス集計結果

3) 居住状況に関するクロス集計結果

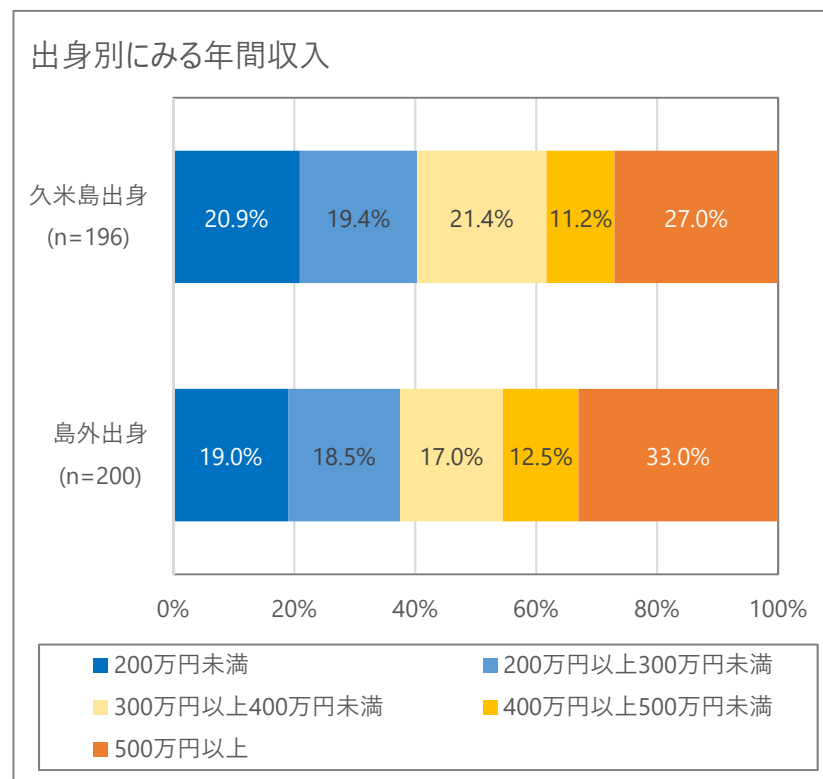
③ 問1×問8 年齢別にみる年間収入

- 年間収入が300万円未満の割合をみると、10～20代（33.3%）、30～40代（27.8%）、50～60代（42.1%）、70代以上（68.1%）と高齢者層に低所得者の割合が多くみられる。



④ 問5-1×問8 出身別にみる年間収入

- 久米島出身及び島外出身とで年間収入は同様の割合分布となる。
- “500万円以上”をみると、島外出身の割合がやや多い。



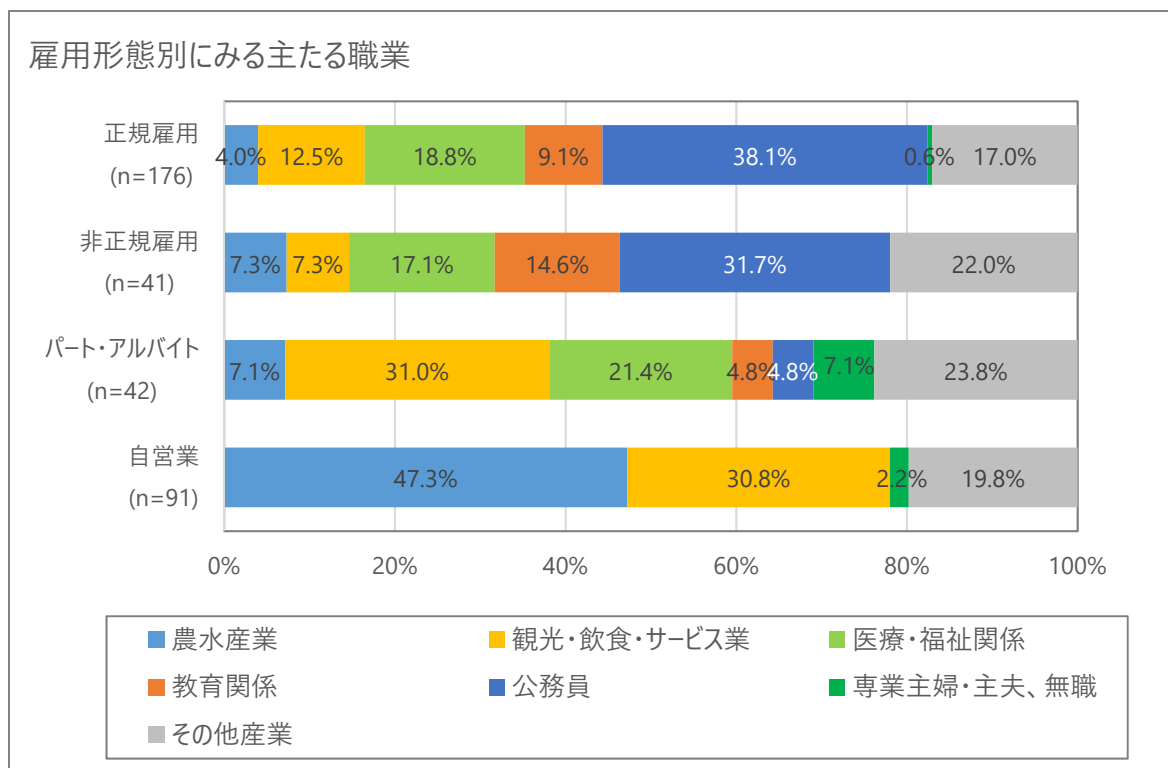
※100万円単位で①100万円未満～⑪1,000万円以上の回答を、5段階に再編して集計している。

2. アンケートのクロス集計結果

4) 雇用状況に関するクロス集計結果

① 問4-1×問4-2 雇用形態別にみる主たる職業

- 正規雇用の割合は、“公務員”（38.1%）が最も多く、次いで“医療・福祉関係”（18.8%）となる。
- 自営業の割合は、“農水産業”（47.3%）、次いで“観光・飲食・サービス業”（30.8%）となる。

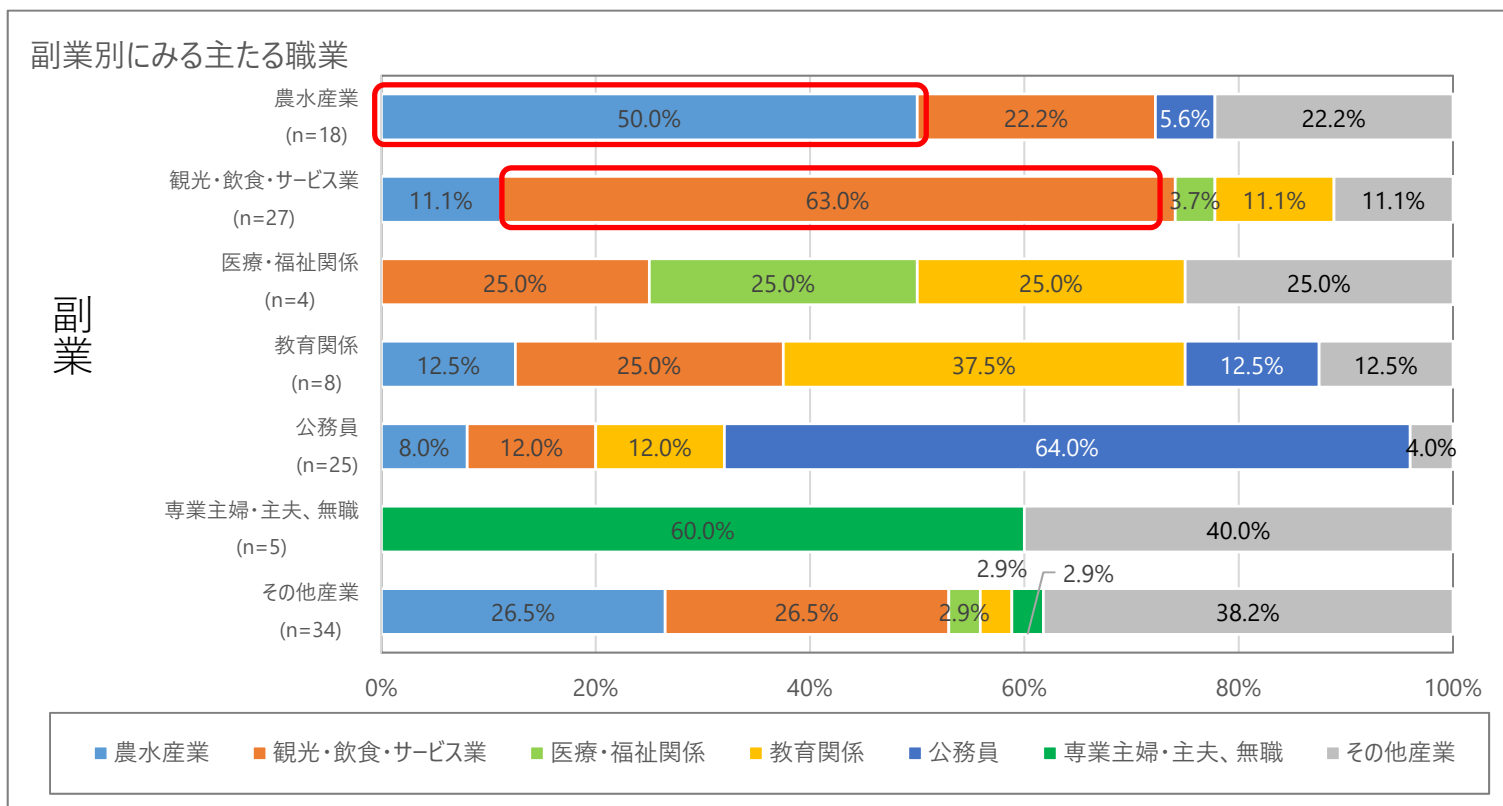


2. アンケートのクロス集計結果

4) 雇用状況に関するクロス集計結果

② 問4-1×問4-3 副業別にみる主たる職業

- 農水産業を主たる職業とする方のうち、半数が副業でも農水産業に携わっている。
- “観光・飲食・サービス業”においても、同業に携わっている人が6割以上を占める。

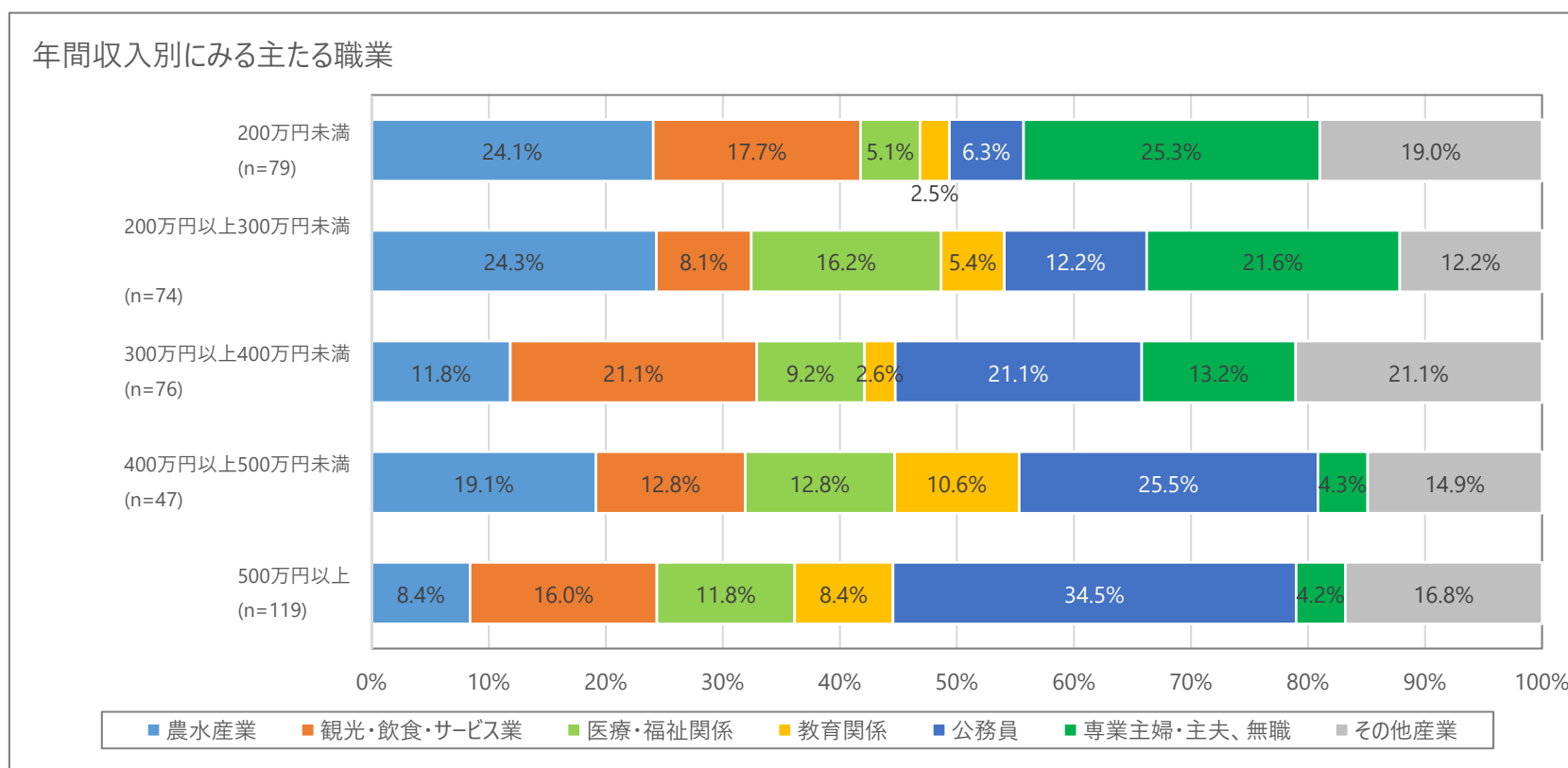


2. アンケートのクロス集計結果

4) 雇用状況に関するクロス集計結果

③ 問4-1×問8 年間収入別にみる主たる職業

- 全体の傾向として、年収300万未満に“農水産業” “専業主婦・主夫、無職”の割合が高く、“公務員”は収入が高くなるに従って、割合が高くなっている。

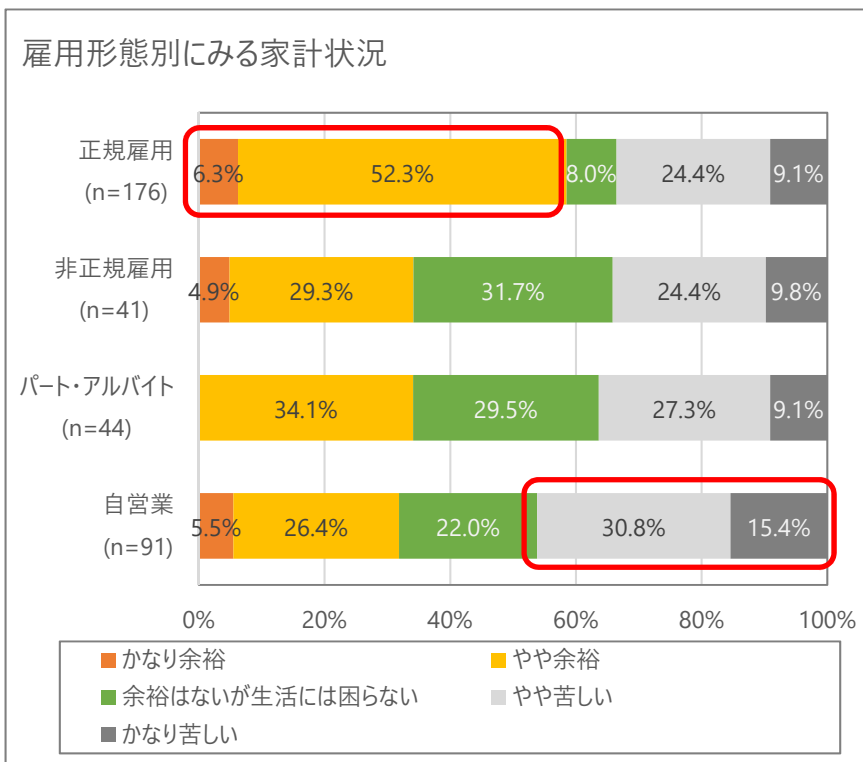


2. アンケートのクロス集計結果

5) 家計状況に関するクロス集計結果

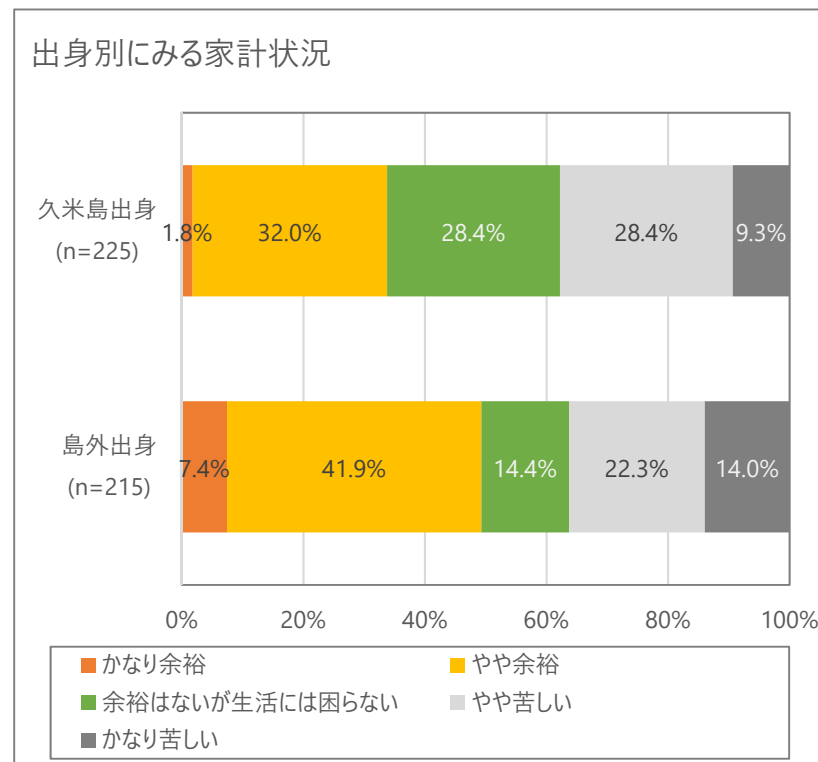
① 問4-2×問11 雇用形態別にみる家計状況

- “かなり余裕” “やや余裕” の回答が過半数を超えているのは正規雇用のみ。
- “やや苦しい” “かなり苦しい” と答えた割合が最も高いのは自営業で、合わせて46.2%に上る。



② 問5-1×問11 出身別にみる家計状況

- “かなり余裕” “やや余裕” の回答をみると、久米島出身が33.8%、島外出身が49.3%となる。

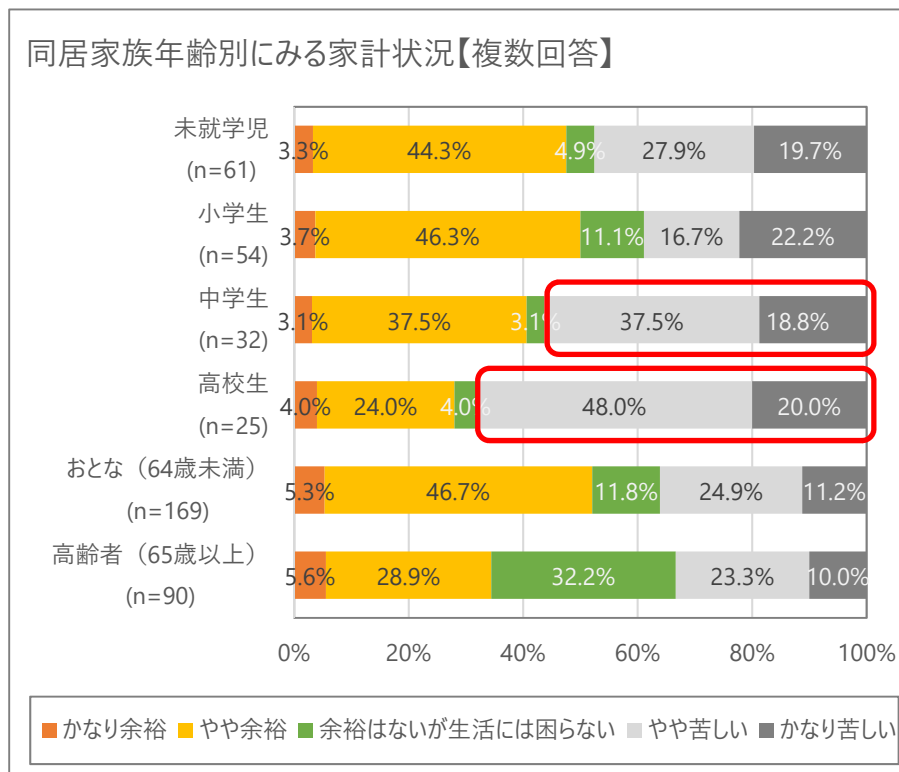


2. アンケートのクロス集計結果

5) 家計状況に関するクロス集計結果

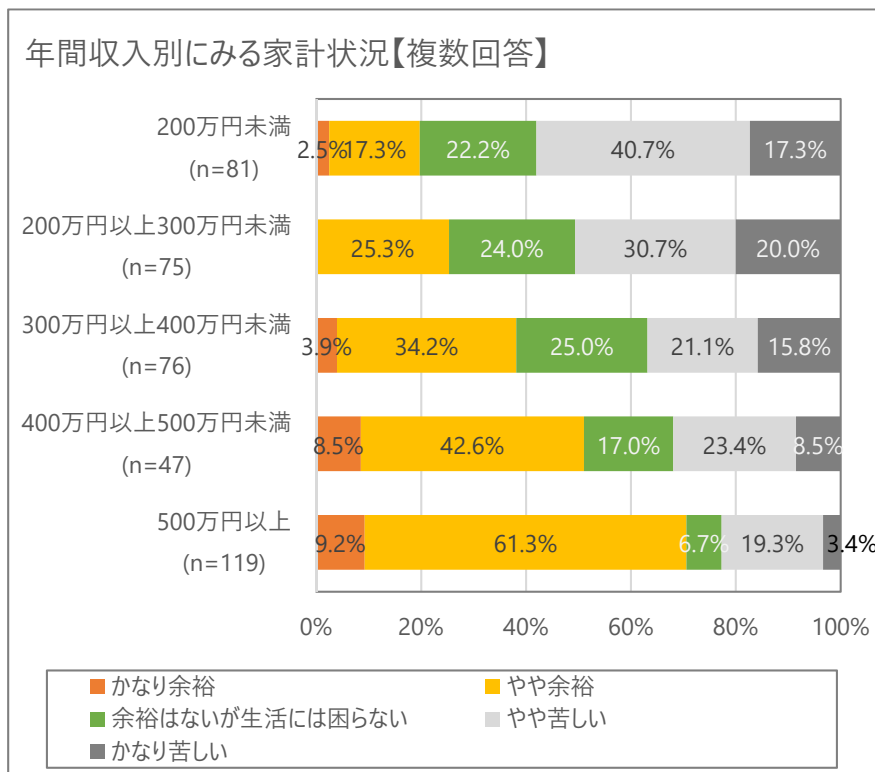
③問7×問11 同居家族年齢別にみる家計状況

- 中学生、高校生のある家庭にて、家計状況が苦しいと回答する割合が過半数になっている。
- 高齢者と同居している家庭において、“余裕はないが生活には困らない”割合が大きい。



④問8×問11 年間収入別にみる家計状況

- 年間収入額が上がるごとに、家計状況に余裕があると回答する割合が大きくなっている。

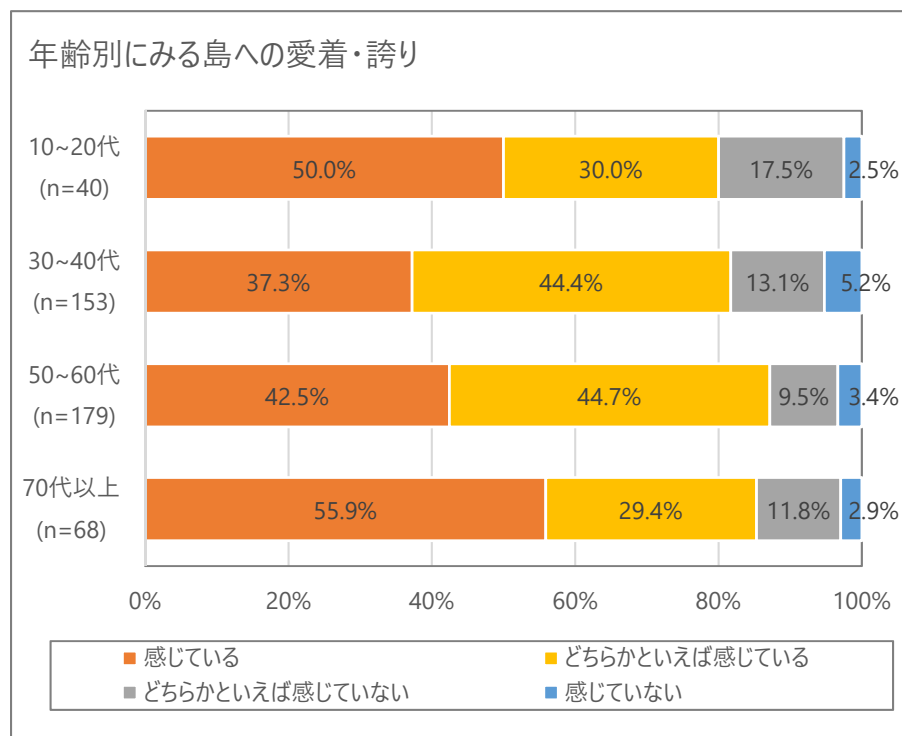


2. アンケートのクロス集計結果

6) 幸福度に関するクロス集計結果

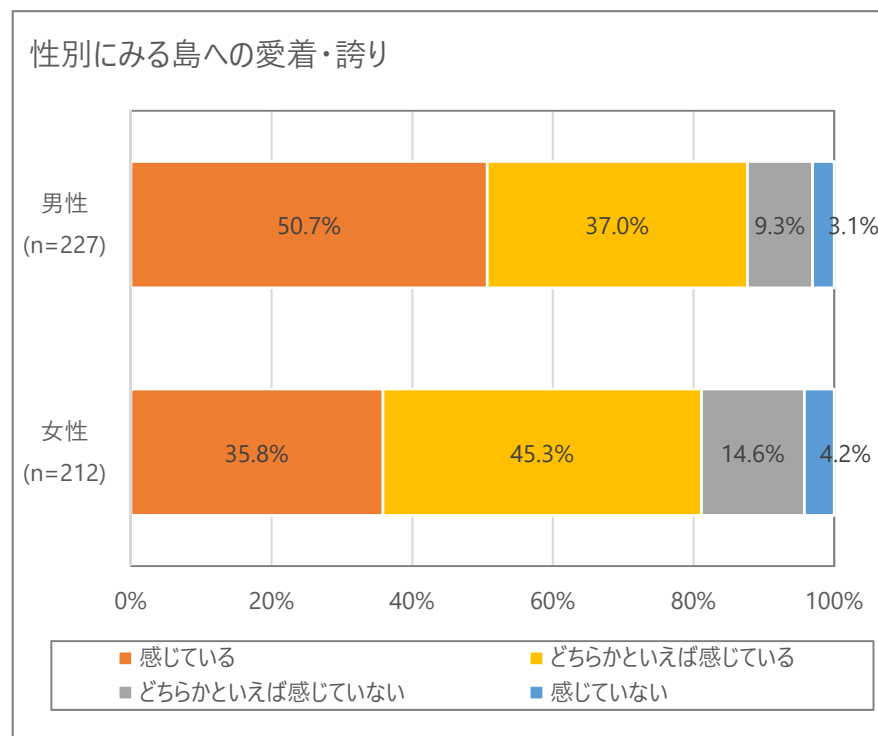
①問1×問9 年齢別にみる島への愛着・誇り

- どの年齢でも島への愛着・誇りを感じている割合は高く、8割以上となっている。



②問2×問9 性別にみる島への愛着・誇り

- 島への愛着・誇りを感じている割合は男性のほうがやや高いが、男女ともに8割以上となっている。

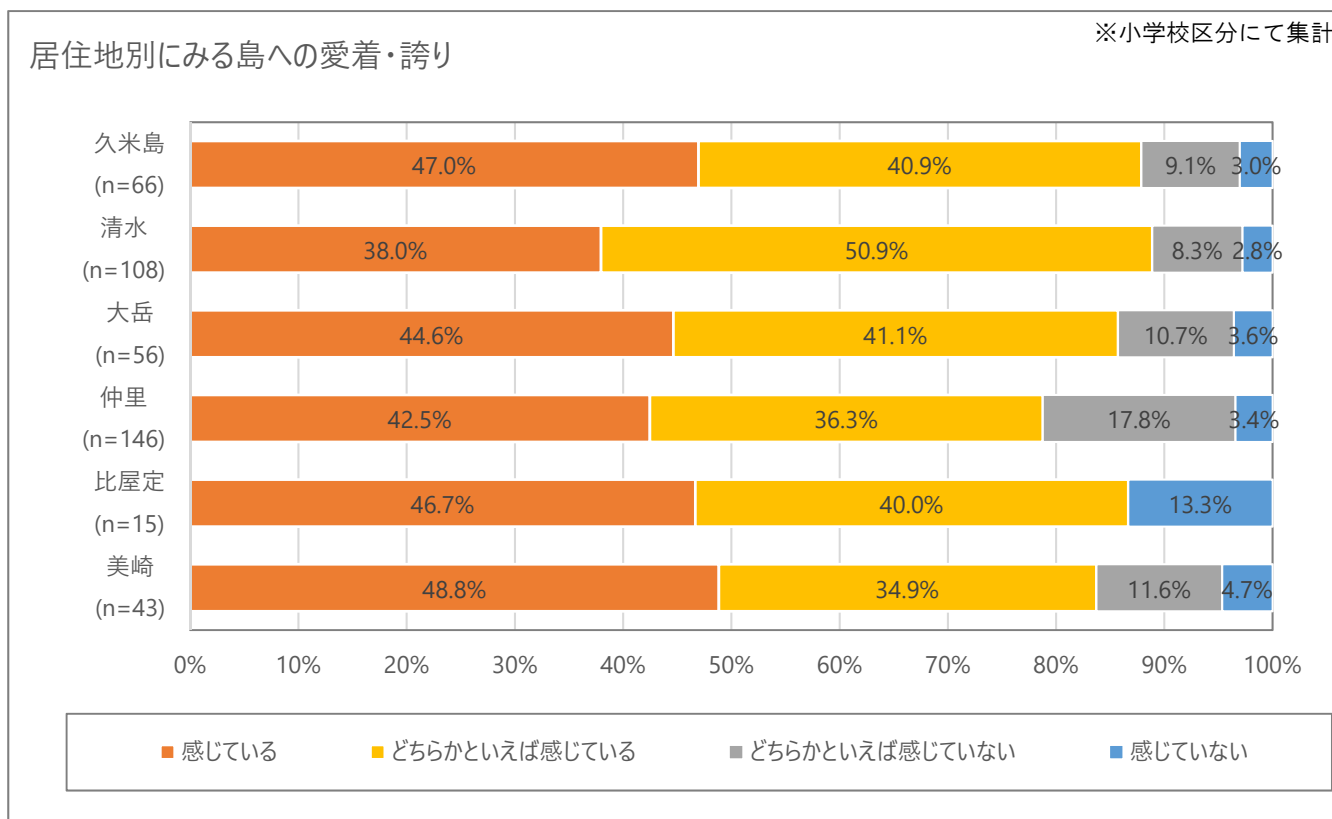


2. アンケートのクロス集計結果

6) 幸福度に関するクロス集計結果

③ 問3×問9 居住地別にみる島への愛着・誇り

- 全体的に島への愛着・誇りを感じている割合は高いが、久米島小学校区、美崎小学校区で“感じている”と回答した割合がやや高い。
- 一方、“感じていない”と回答したのは比屋定小学校区が最も高い（13.3%）となっており、“どちらかというと感じていない”・“感じていない”の合計の割合は、仲里小学校区が最も高い（21.2%）。

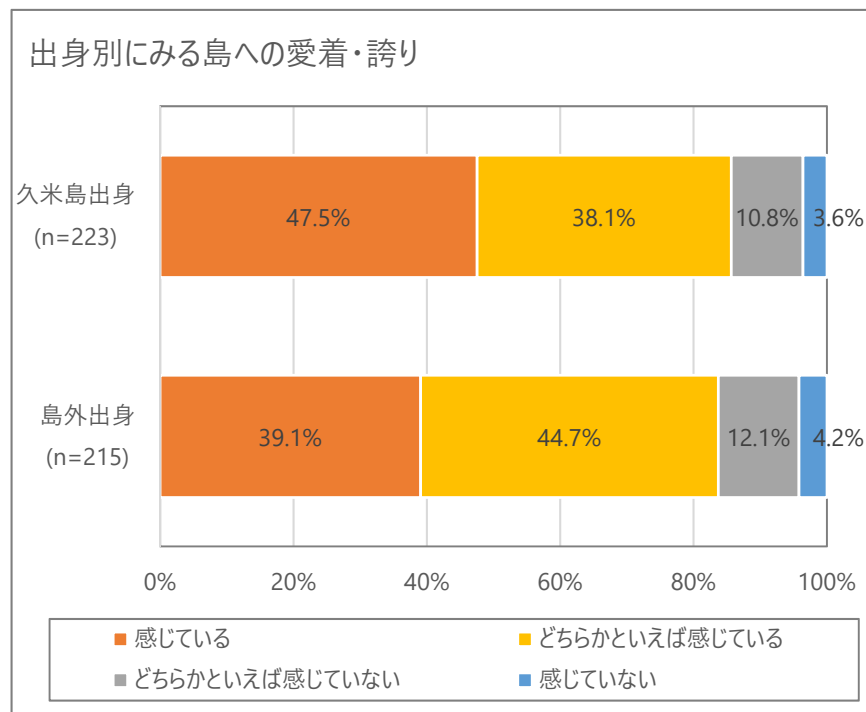


2. アンケートのクロス集計結果

6) 幸福度に関するクロス集計結果

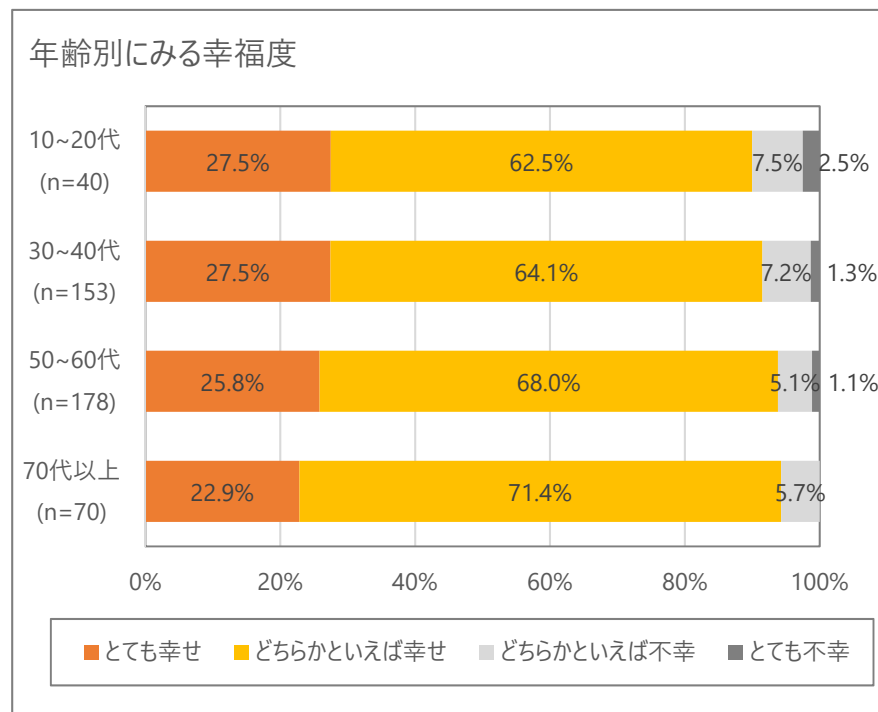
④ 問5-1×問9 出身別に見る島への愛着・誇り

- 久米島出身のほうがやや高く、ほぼ半数が島への愛着・誇りを“感じている”と回答している。



⑤ 問1×問10 年齢別に見る幸福度

- 年齢が上がるにつれて、わずかではあるが幸福度が高くなっている。

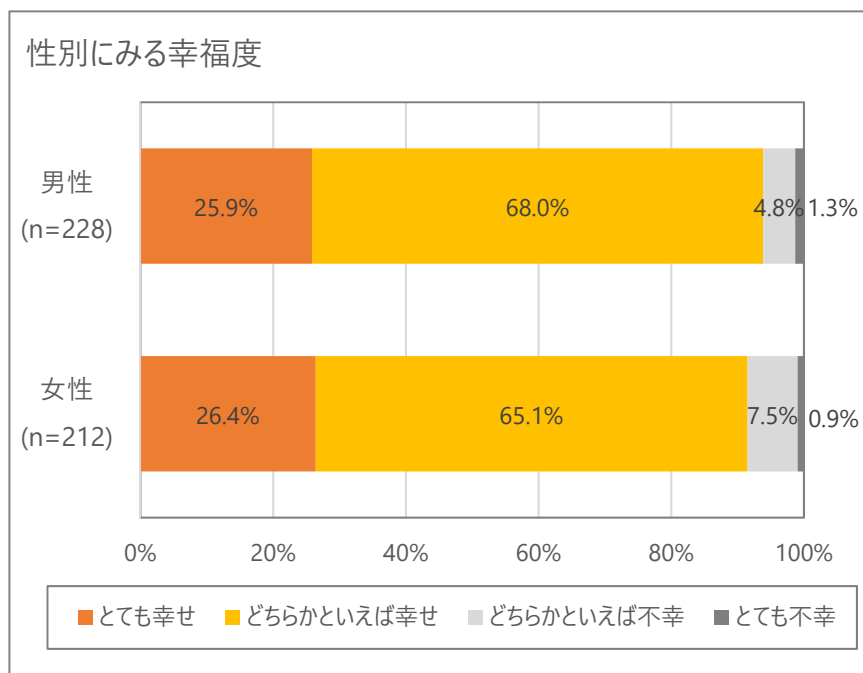


2. アンケートのクロス集計結果

6) 幸福度に関するクロス集計結果

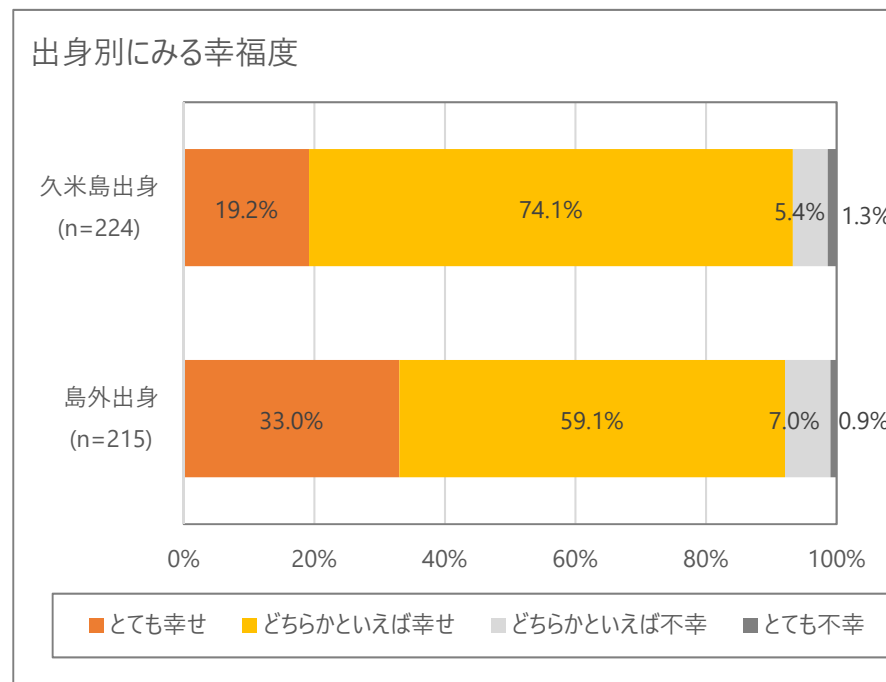
⑥ 問2×問10 性別にみる幸福度

- 男女ともにほぼ同じ傾向にある。



⑦ 問5-1×問10 出身別に見る幸福度

- 幸福度は同程度であるが、島外出身のほうが“とても幸せ”と回答した割合は高い。



2. アンケートのクロス集計結果

7)満足度に関するクロス集計結果

①-1 問1×問12 年齢別にみる島での生活に関する満足度(満足+やや満足)

- 30～40代において、“医療機関が充実している”“産前産後を安心して過ごせる”の満足度が低い。
- 年齢が上がるにつれて、“公共交通機関で、自由に移動ができる”の満足度が低くなっている。

項目	属性	%								
		0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%
医療機関が充実している	10～20代	22.5%								
	30～40代	15.0%								
	50～60代	26.4%								
	70代以上	40.9%								
介護・福祉施設のサービスが受けやすい	10～20代	38.5%								
	30～40代	21.8%								
	50～60代	39.5%								
	70代以上	33.3%								
産前産後を安心して過ごせる	10～20代	23.1%								
	30～40代	12.8%								
	50～60代	21.6%								
	70代以上	15.2%								
日常の買い物にまったく不便がない	10～20代	27.5%								
	30～40代	41.2%								
	50～60代	42.3%								
	70代以上	47.0%								
心地のいい居場所がある	10～20代	67.5%								
	30～40代	79.1%								
	50～60代	76.3%								
	70代以上	65.1%								
飲食を楽しめる場所が充実している	10～20代	55.0%								
	30～40代	51.0%								
	50～60代	44.0%								
	70代以上	34.9%								
適度な費用で住居を確保できる	10～20代	30.0%								
	30～40代	39.9%								
	50～60代	45.1%								
	70代以上	42.3%								
公共交通機関で、自由に移動ができる	10～20代	25.0%								
	30～40代	17.0%								
	50～60代	13.3%								
	70代以上	11.9%								
楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	10～20代	15.0%								
	30～40代	11.8%								
	50～60代	19.0%								
	70代以上	17.2%								

2. アンケートのクロス集計結果

7)満足度に関するクロス集計結果

①-2 問1×問12 年齢別にみる島での生活に関する満足度(満足+やや満足)

- 70代以上において、“子育て支援・補助が手厚い” “自慢できるまちなみ景観がある”の満足度が他の年齢と比較して低い。
- 10～20代にて、“役場は地域のことを真剣に考えていると思う” “公共施設は使い勝手がよく便利である”の満足度が高くなっている。

項目	属性	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%
子育て支援・補助が手厚い	10～20代	50.0%								
	30～40代	37.6%								
	50～60代	44.4%								
	70代以上	23.3%								
子どもたちがいきいきと暮らせる	10～20代	67.5%								
	30～40代	70.7%								
	50～60代	61.0%								
	70代以上	51.1%								
教育環境（小中高校）が整っている	10～20代	45.0%								
	30～40代	43.9%								
	50～60代	50.3%								
	70代以上	45.3%								
役場は地域のことを真剣に考えていると思う	10～20代	57.5%								
	30～40代	30.0%								
	50～60代	32.8%								
	70代以上	23.7%								
公共施設は使い勝手がよく便利である	10～20代	42.5%								
	30～40代	30.1%								
	50～60代	31.0%								
	70代以上	34.5%								
行政サービスのデジタル化が進んでいる	10～20代	22.5%								
	30～40代	22.9%								
	50～60代	24.3%								
	70代以上	39.2%								
日常生活でデジタルサービスを利用しやすい	10～20代	20.0%								
	30～40代	26.8%								
	50～60代	21.9%								
	70代以上	23.1%								
まちなか、公園等、心地よく歩ける場所がある	10～20代	52.5%								
	30～40代	62.1%								
	50～60代	56.3%								
	70代以上	51.7%								
自慢できるまちなみ景観がある	10～20代	75.0%								
	30～40代	74.5%								
	50～60代	71.0%								
	70代以上	56.1%								

2. アンケートのクロス集計結果

7) 満足度に関するクロス集計結果

①-3 問1×問12 年齢別にみる島での生活に関する満足度(満足+やや満足)

- “自然が大切に守られている”
“伝統文化や地域行事は大切にされ、活発である”
“文化財や地域資源は保存・活用されている”
“環境への取組みが盛んである”
に関して、年齢が上がるにつれて、満足度が下がる結果となっている。

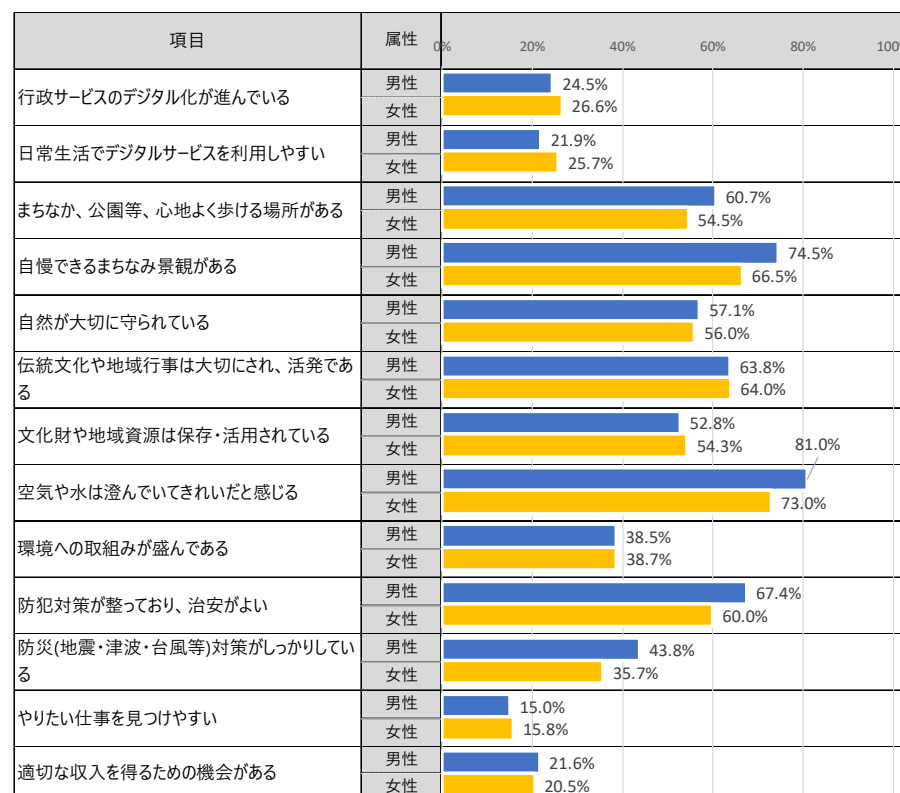
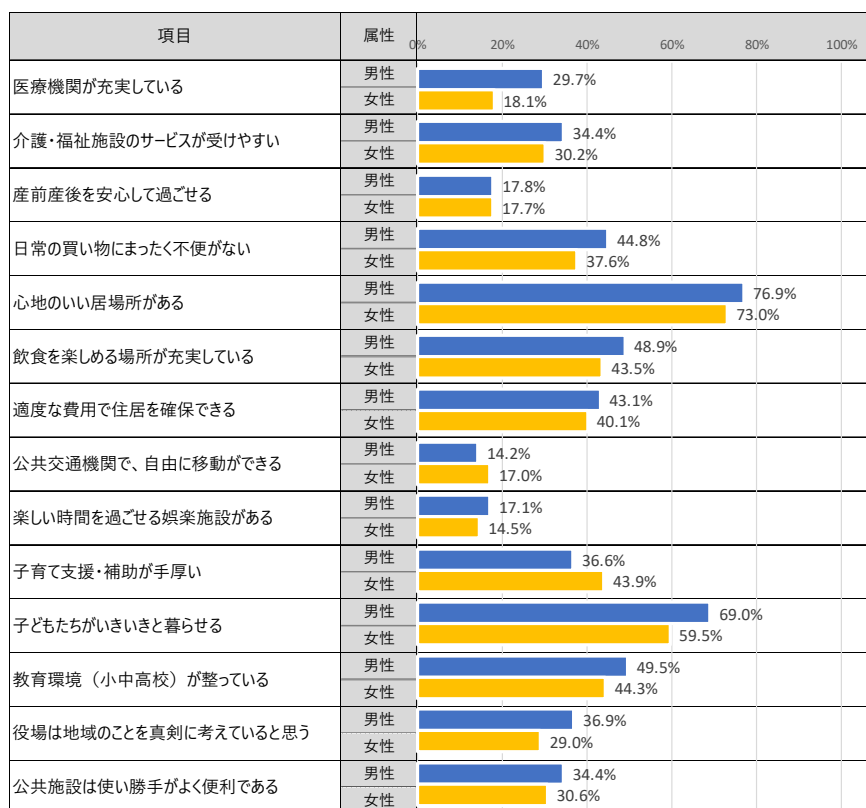
項目	属性	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%
自然が大切に守られている	10~20代	75.0%									
	30~40代	65.4%									
	50~60代	49.4%									
	70代以上	43.3%									
伝統文化や地域行事は大切にされ、活発である	10~20代	77.5%									
	30~40代	69.3%									
	50~60代	61.1%									
	70代以上	52.3%									
文化財や地域資源は保存・活用されている	10~20代	67.5%									
	30~40代	59.2%									
	50~60代	49.4%									
	70代以上	40.7%									
空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	10~20代	82.5%									
	30~40代	74.5%									
	50~60代	76.3%									
	70代以上	79.4%									
環境への取組みが盛んである	10~20代	62.5%									
	30~40代	44.7%									
	50~60代	32.8%									
	70代以上	24.2%									
防犯対策が整っており、治安がよい	10~20代	62.5%									
	30~40代	62.7%									
	50~60代	65.3%									
	70代以上	60.9%									
防災(地震・津波・台風等)対策がしっかりしている	10~20代	45.0%									
	30~40代	45.1%									
	50~60代	34.1%									
	70代以上	40.7%									
やりたい仕事を見つけやすい	10~20代	10.0%									
	30~40代	14.5%									
	50~60代	17.2%									
	70代以上	15.7%									
適切な収入を得るための機会がある	10~20代	17.5%									
	30~40代	19.1%									
	50~60代	25.1%									
	70代以上	17.3%									

2. アンケートのクロス集計結果

7) 満足度に関するクロス集計結果

②-1 問2×問12 性別でみる島での生活に関する満足度(満足+やや満足)

- 全体的に男性のほうが満足度が高くなっている。

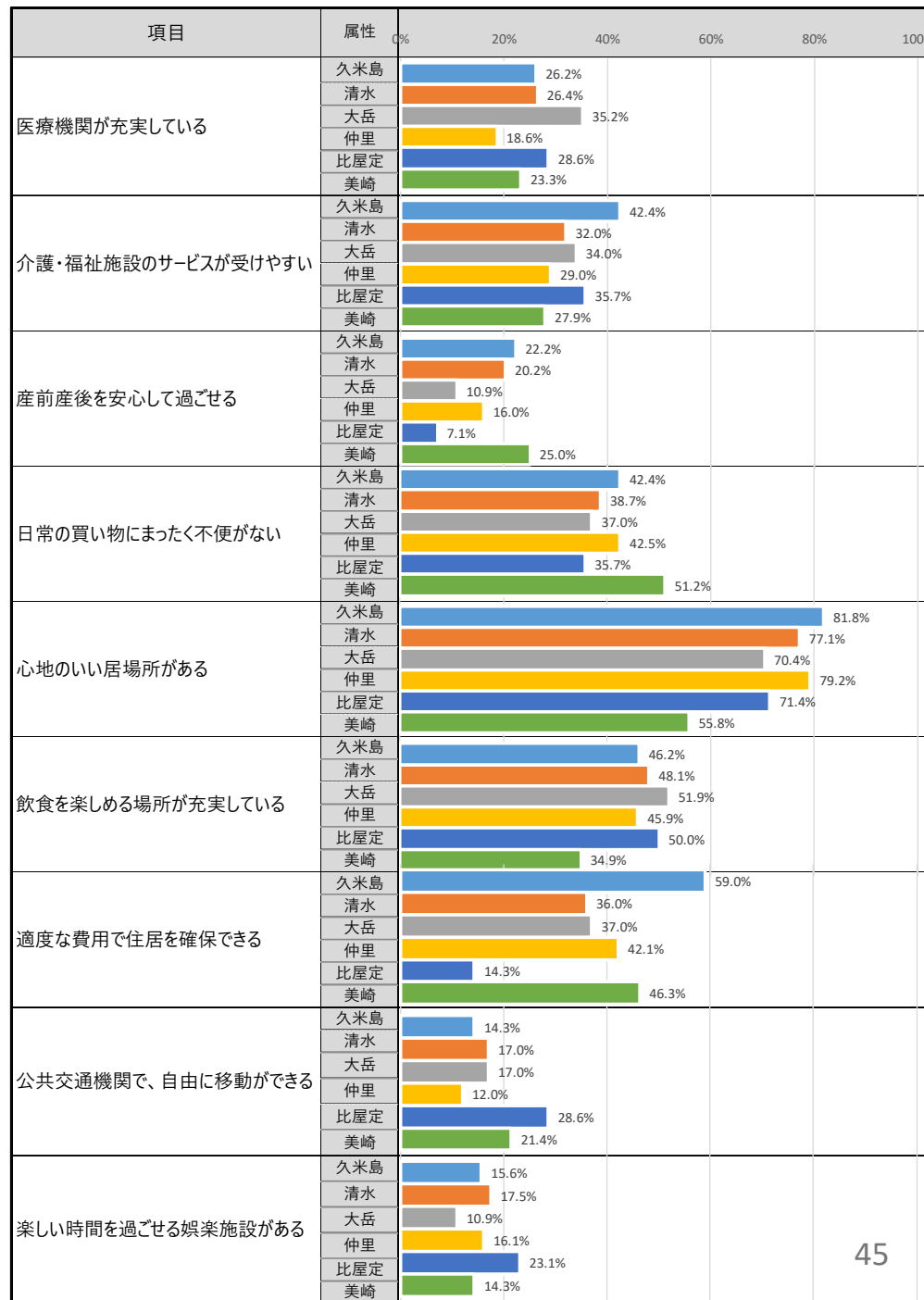


2. アンケートのクロス集計結果

7) 満足度に関するクロス集計結果

③-1 問4-3×問12 居住地別でみる島での生活に関する満足度(満足+やや満足)

- 医療機関への満足度は、大岳小学校区が最も高くなっている。
- 日常への買い物への満足度は、美崎小学校区が最も高い。
- 住居の確保に対する満足度は、久米島小学校区が最も高く、50%を超えている。



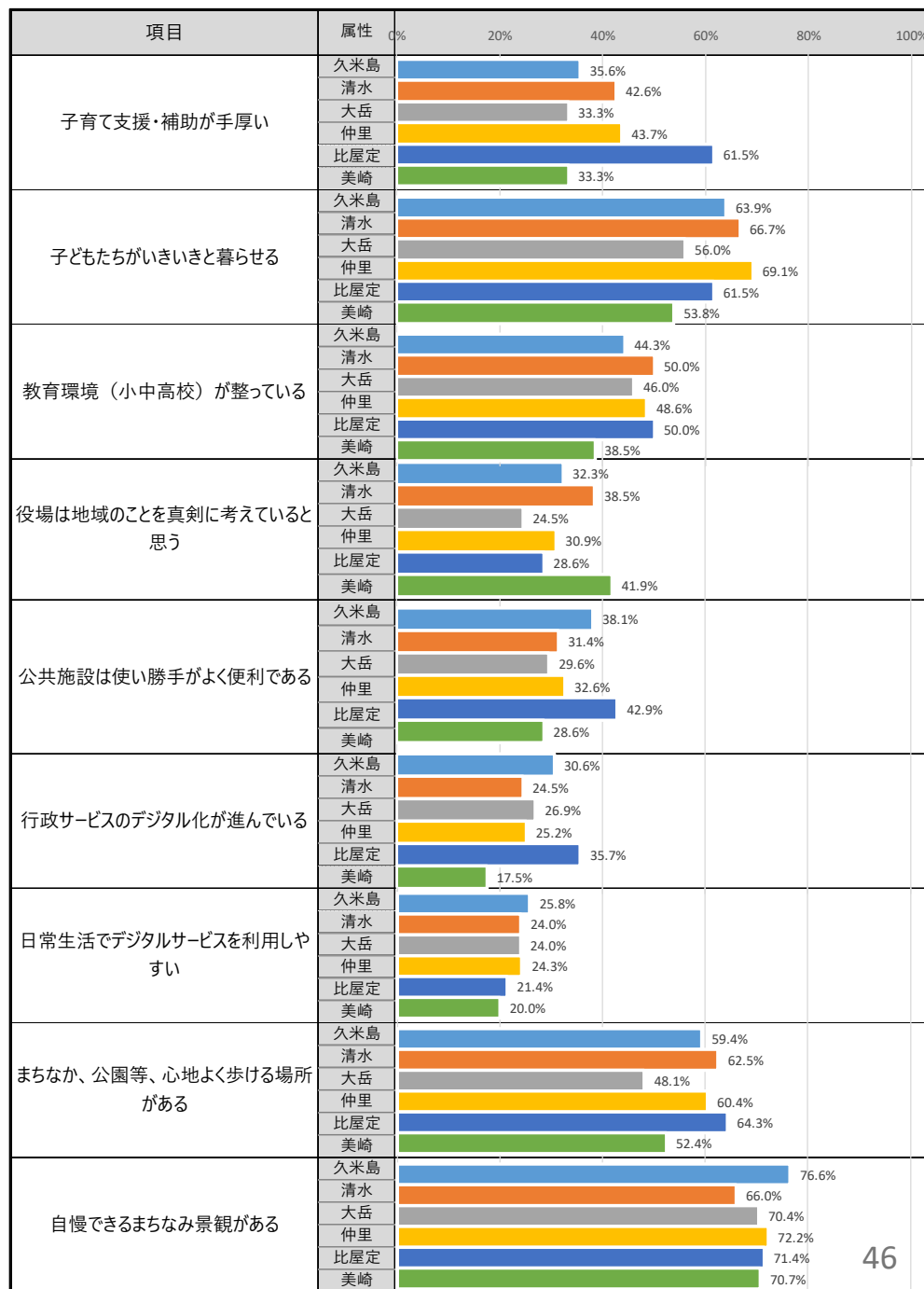
※小学校区分にて集計

2. アンケートのクロス集計結果

7) 満足度に関するクロス集計結果

③-2 問4-3×問12 居住地別でみる島での生活に関する満足度(満足+やや満足)

- 子育て支援への満足度は、比屋定地区が最も高くなっている。
- “まちなか、公園等、心地よく歩ける場所がある”に対する満足度は、大岳地区が他地区と比べて低い。



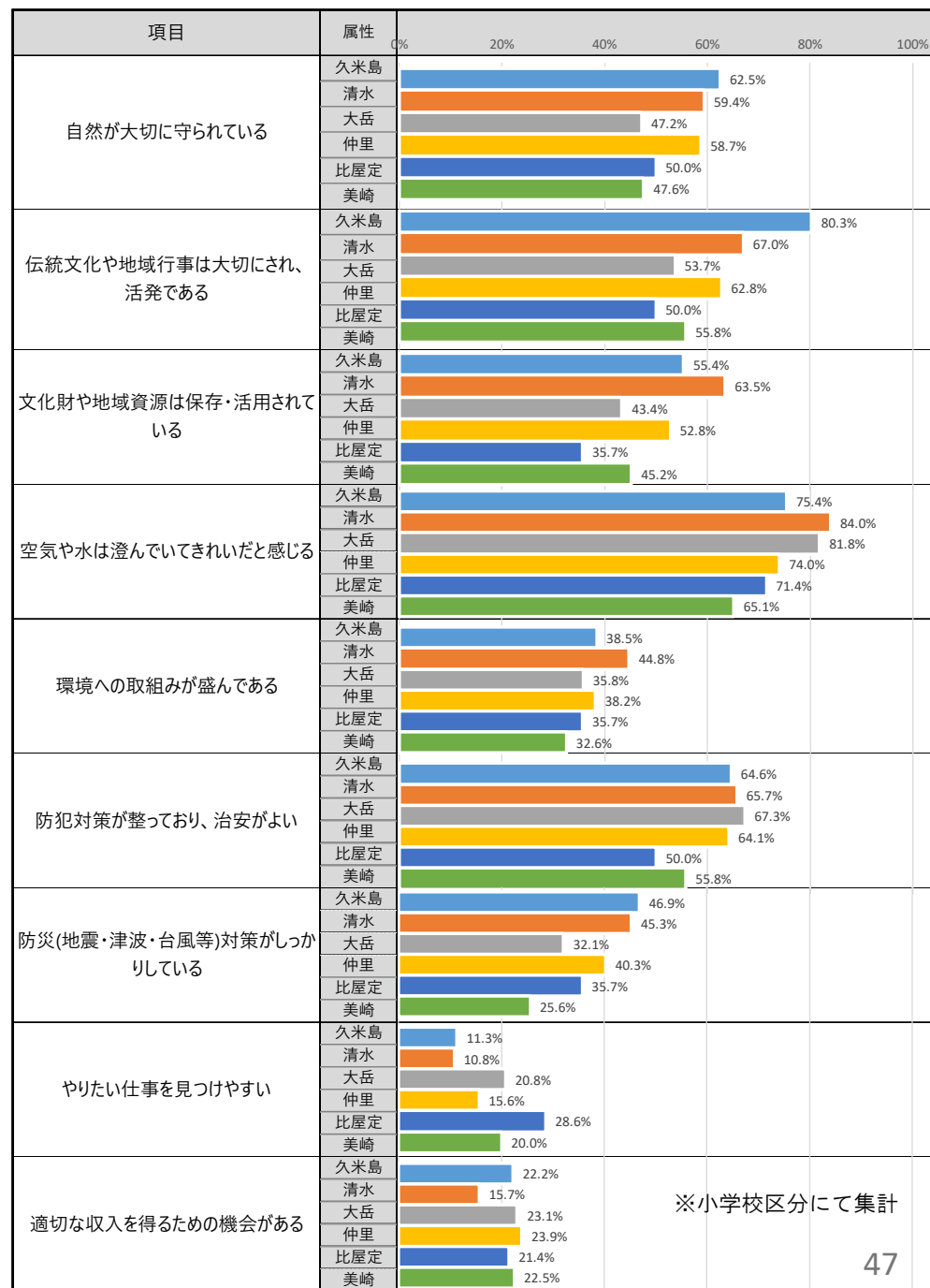
※小学校区分にて集計

2. アンケートのクロス集計結果

7) 満足度に関するクロス集計結果

③-3 問4-3×問12 居住地別でみる島での生活に関する満足度(満足+やや満足)

- “伝統文化や地域行事は大切にされ、活発である”への満足度は、久米島地区が最も高く、80.3%となっている。



※小学校区分にて集計

2. アンケートのクロス集計結果

7) 満足度に関するクロス集計結果

④-1 問5-1×問12 出身別でみる島での生活に関する満足度(満足+やや満足)

- 医療機関の充実への満足度は、久米島出身に対して島外出身は20%も低い結果となっている。
- “心地のいい居場所がある” “適度な費用で住居を確保できる” への満足度は、島外出身が久米島出身より10%以上満足度が高い。
- 自然・環境への満足度は、久米島出身に対して島外出身のほうが高い結果となっている。
- 一方で、行政や公共施設、仕事や収入に対する満足度は、島外出身より久米島出身のほうが高い。

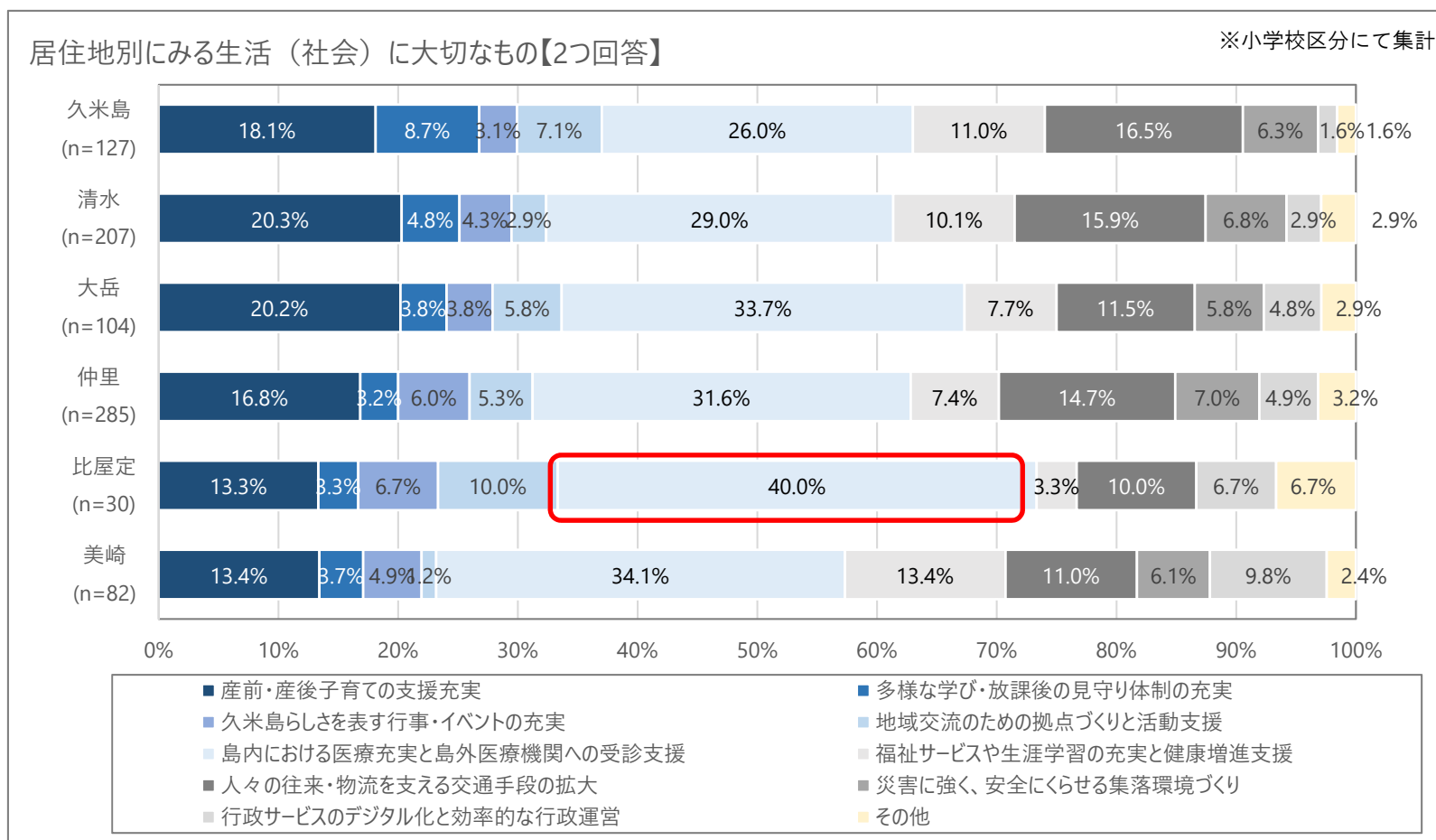
項目	属性	%					項目	属性	%							
		0%	20%	40%	60%	80%			100%	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
医療機関が充実している	久米島出身					34.4%	公共施設は使い勝手がよく便利である	久米島出身					35.2%			
	島外出身					14.1%		島外出身					29.6%			
介護・福祉施設のサービスが受けやすい	久米島出身					37.7%	行政サービスのデジタル化が進んでいる	久米島出身					31.0%			
	島外出身					26.5%		島外出身					20.5%			
産前産後を安心して過ごせる	久米島出身					19.4%	日常生活でデジタルサービスを利用しやすい	久米島出身					22.8%			
	島外出身					16.1%		島外出身					24.4%			
日常の買い物にまったく不便がない	久米島出身					49.8%	まちなか、公園等、心地よく歩ける場所がある	久米島出身					53.0%			
	島外出身					32.4%		島外出身					62.0%			
心地のいい居場所がある	久米島出身					69.1%	自慢できるまちなみ景観がある	久米島出身					65.9%			
	島外出身					80.4%		島外出身					74.8%			
飲食を楽しめる場所が充実している	久米島出身					44.7%	自然が大切に守られている	久米島出身					51.2%			
	島外出身					47.2%		島外出身					61.7%			
適度な費用で住居を確保できる	久米島出身					36.1%	伝統文化や地域行事は大切にされ、活発である	久米島出身					56.0%			
	島外出身					46.2%		島外出身					72.8%			
公共交通機関で、自由に移動ができる	久米島出身					19.6%	文化財や地域資源は保存・活用されている	久米島出身					49.8%			
	島外出身					11.2%		島外出身					57.0%			
楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	久米島出身					15.6%	空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	久米島出身					77.9%			
	島外出身					15.6%		島外出身					76.2%			
子育て支援・補助が手厚い	久米島出身					41.8%	環境への取組みが盛んである	久米島出身					34.7%			
	島外出身					38.9%		島外出身					41.8%			
子どもたちがいきいきと暮らせる	久米島出身					62.1%	防犯対策が整っており、治安がよい	久米島出身					63.3%			
	島外出身					65.3%		島外出身					64.2%			
教育環境（小中高校）が整っている	久米島出身					48.0%	防災(地震・津波・台風等)対策がしっかりしている	久米島出身					39.6%			
	島外出身					45.5%		島外出身					40.2%			
役場は地域のことを真剣に考えていると思う	久米島出身					37.1%	やりたい仕事を見つけやすい	久米島出身					16.5%			
	島外出身					28.6%		島外出身					13.8%			
							適切な収入を得るための機会がある	久米島出身					22.6%			
								島外出身					20.0%			

2. アンケートのクロス集計結果

8) 島づくり意向に関するクロス集計結果

① 問3×問17-1 居住地別にみる生活(社会)に大切なもの【2つ回答】

- 各小学校区で“島内における医療充実と島外医療機関への受診支援”が最も高い割合を占めており、特に比屋定小学校区にて40%と高い結果となっている。

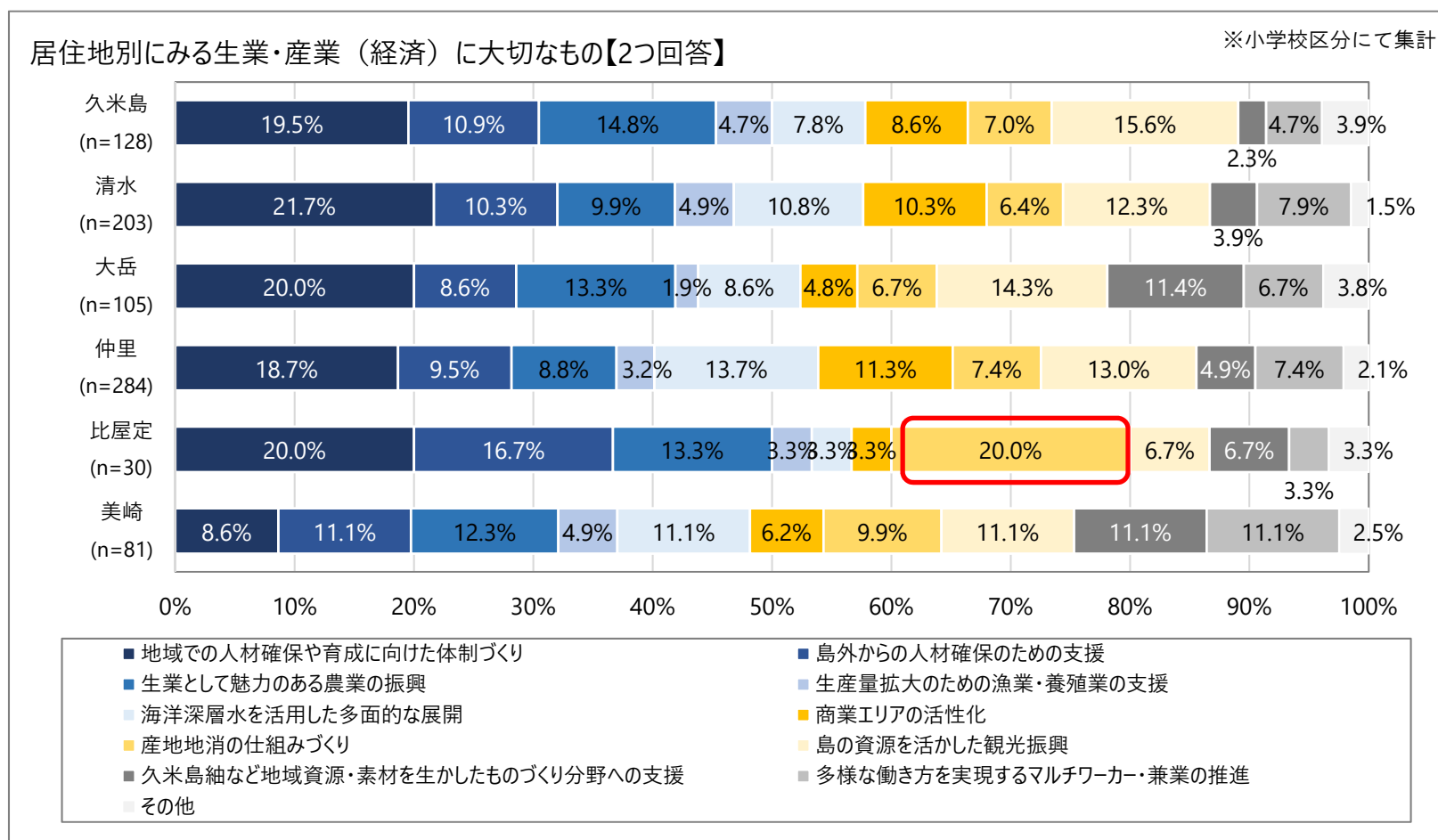


2. アンケートのクロス集計結果

8) 島づくり意向に関するクロス集計結果

② 問3×問17-2 居住地別にみる生業・産業(経済)に大切なもの【2つ回答】

- 比屋定小学校区における“産地地消の仕組みづくり”の割合が他小学校区と比べて2倍以上高くなっている。

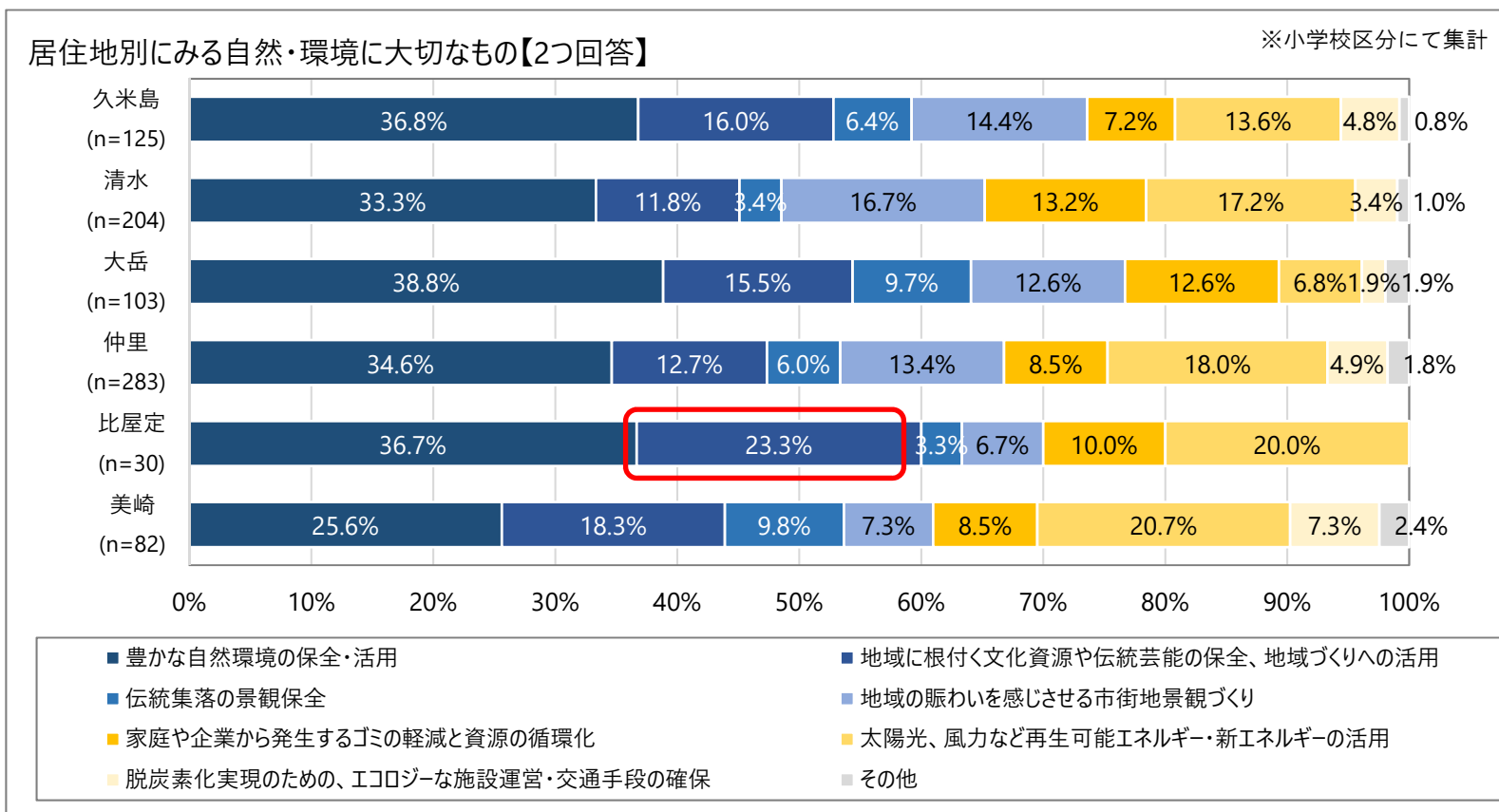


2. アンケートのクロス集計結果

8) 島づくり意向に関するクロス集計結果

③ 問3×問17-3 居住地別にみる自然・環境に大切なもの【2つ回答】

- 全小学校区において、“豊かな自然環境の保全・活用”が最も割合が高くなっている。
- 比屋定小学校区では、他地区と比べて“地域に根付く文化資源や伝統芸能の保全、地域づくりへの活用”に対する割合が高い。



3. アンケートのクロス集計結果のまとめ

1) 居住経緯について

- 居住年数は、島外出身者の6割以上が10年未満となっており、**移住者の定住**が課題である。
- 全体として“就職”に次いで“その他”の回答が多いが、“その他”の内容を出身地別にみると、島出身者では「家業を継ぐため」「新規事業立ち上げ」、島外出身者では「転勤・単身赴任」等、いずれも**仕事に関連する理由**が多く挙げられており、仕事と移住・Uターンが密接に影響していることが伺える。
- 男女別でみると、女性は“就職”に次いで“結婚”の回答が多い。また、島外出身者の回答が相対的に多いことから、島出身の男性と結婚を機に移住した女性が多いことがわかる。
- 出身別の戻ってきた・移住した年代をみると、島出身者は6割以上が**10～20代でUターンが多く**、島外出身者は約5割が**30～40代の働き盛りの世代で移住が多い**。また、**70代以上の移住もみられることから、退職後の移住需要も一定数ある**と伺える。

2) 今後の居住意向について

- 年代別にみると、年齢が高いほど今後も住み続けたいという回答が多い。一方、**年齢が若いほど今後も住み続けたいという回答が少なくなっており**、40代以下の若い年代が住み続けたいと思える施策展開が必要である。
- 住み続けたいと思わない・どちらかと言うと思わない理由として、「医療体制が不安（50-60代）」、「子育てしにくい環境（10-20代）」等、**ライフステージごとの課題**に対する意見が見られるほか、全年代に共通して、「物価高」や「交通手段が少ない」等、**生活の不便さ**に関する意見も多く挙げられた。
- 出身別にみると、島出身の方が今後も住み続けたい意向が多い。島出身者の理由としては、「長く住んでいるから」「島が好き」等の**島への愛着**に関する理由が多い。一方、島外出身者の理由については、「治安がよくのびのびできる」、「自然が豊かだから」等、環境や居心地の良さに関する理由が多く挙げており、**離島ならではの快適な環境整備の重要性**が伺える。

3. アンケートのクロス集計結果のまとめ

3)現在の居住状況について

- 出身別の家族構成・同居家族年齢をみると、島出身者は成人のみの世帯、高齢者の割合が高い。**成人・高齢者の親子世帯**の回答も多く、今後、**高齢者支援や介護サービスの需要**が増加することが予想される。島外出身者ではひとり暮らし世帯の割合が高く、**単身赴任による一時的な島内移住も多い**ことが予想され、定住化に向けた取り組みが必要である。
- 島出身者世帯の子どもの割合については、未就学児から高校生まで概ね一定の割合ではあるが、**子どもの年齢層が上がるにつれて若干の減少傾向**が見られる。島外出身者世帯では中学生以降で大きく減少しており、**中高生**のいる世帯流出が多いことから、**継続的な教育支援等、更なる島内教育の充実**を図る必要性が示唆される。

4)現在の雇用状況、家計状況について

- 副業の状況をみると、島内の主産業である農水産業、飲食・観光・サービス業では約半数が主たる職業と同業種の回答になっていることから、スキルや収入の不安が比較的少ない**同業種での副業を選択する人が多い**ようである。また、この2つの産業を主たる職業にしている回答者の年間収入をみると、低所得の割合が高くなっていることから、**生活維持のために副業が必要不可欠な方も一定数いる**ことが伺える。
- 家計状況では、中高生がいる家庭において家計状況が苦しいと回答する割合が非常に高く、学習活動やスキルアップのための習い事等の幅が広がる**中高生の教育支援の強化が必要**である。
- 雇用形態別では、自営業の家計状況が苦しいと回答する割合が高く、**継続的経営のための支援・指導等**の必要性が示唆される。
- 出身地別の家計状況では、島出身者では余裕とを感じる割合が低い。島外出身者では余裕とを感じる割合は高い一方で、かなり苦しいと答えた割合も高く、差異が大きい状況と見受けられる。

3. アンケートのクロス集計結果のまとめ

5) 幸福度について

- 性別での回答をみると、島への愛着・誇りについては男女ともに8割以上が“感じている”と回答しているなかで、女性が“感じていない”の割合が比較的高くなっていることから、女性も島への愛着を高められるよう、暮らしの満足度を高める必要がある。一方、幸福度については男女ともに概ね同様の結果となっている。
- 年齢別での回答をみると、年齢が上がるにつれて島への愛着・誇りを感じている割合、幸福度ともに最も高くなっており、今後の居住意向にも紐づいている。幸福度については、“とても幸せ”と感じている割合は10～40代が若干高く、**若い世代の高い幸福度を維持、増幅**していくことが肝となる。
- 居住地域別の島への愛着・誇りについて、“感じている”と回答した割合は全ての地域において概ね同様である。一方、“どちらかというと感じていない”・“感じていない”の回答をみると、仲里小学校区、美崎小学校区が比較的割合が高く、西側の地域に集まっている。

6) 暮らしの満足度について

<医療、介護、福祉>

- “医療機関の充実”、“産前産後の安心”、“介護・福祉施設のサービス”の満足度については、30～40代の満足度が低く、仕事や育児・介護と両立できるような医療環境や柔軟な支援サービスが課題と考えられる。
- 男女別では女性の“医療機関の充実”への満足度が低い。産前産後だけでなく、女性特有の健康課題に対応できるような医療環境や、島外機関への受診に対する支援が必要と考えられる。
- 出身地別でみると、他地域や都市部の居住経験から比較対象がある島外出身者の“医療機関の充実”の満足度がかなり低いことがわかる。

3. アンケートのクロス集計結果のまとめ

<子育て支援、教育>

- “子育て支援・補助”の満足度については、年齢別でみると70代が最も低く、若い年齢で満足度が高くなっていることから、徐々に改善されてきていると見受けられる。
- “子ども達がいきいきと暮らせる”の満足度については、全体に共通して高い満足度を獲得できている。今後は、支援・補助を拡大して、働く親が安心できるような支援・補助を充実させることが必要と考えられる。

<買い物、娯楽施設など>

- 年齢別でみると、“日常の買い物”の満足度は、年齢が上がるにつれ満足度が高くなっている。一方で、“飲食の充実”の満足度については、若い年齢ほど満足度が高い傾向にある。飲食サービスについては若年層のニーズには概ね対応できていると見受けられる。
- “楽しい時間を過ごせる娯楽施設”については、全体に共通して満足度が低い。
- “心地のよい居場所”の満足度は全体に共通して過半数以上となっており、特に移住者の満足度が高い。しかしながら、居住地別での差異が大きい面もある。

<住居、交通、防災・防犯>

- “適度な費用での住居確保”の満足度は、居住地別でみると、久米島小学校区と比屋定小学校区では、満足度におよそ4倍の差異がある。出身別でみると、島外出身の方が満足度が若干高く、**島出身者、特にUターン希望者の住宅確保が困難**であることが予想される。
- “公共交通機関での自由な移動”の満足度は、全体的に満足度は低いが、年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ、満足度が低い傾向にある。**高齢者も快適に移動できるような、自家用車に頼らない交通網の整備**が必要である。
- “防犯対策、治安のよさ”の満足度については、全体共通で満足度が高い。一方、“防災対策”の満足度は若干満足度が低く、地域差がみられる状況のため、ムラのない災害対策を進める必要性が示唆される。

3. アンケートのクロス集計結果のまとめ

<公共施設、行政サービス>

- “役場は地域のことを真剣に考えていると思う”の満足度及び“公共施設の利便性”は、年齢別でみると10-20代の満足度が高いが、他年代では概ね同様に低い状況である。
- “行政サービスのデジタル化”は、デジタル利用率が高くなる若い年齢ほど満足度が低くなっている。“日常生活でのデジタルサービスの利用しやすさ”についてはさらに満足度が低い傾向にあり、デジタル利用に適した環境整備と合わせて、行政サービスのデジタル対応を進める必要があると考えられる。

<自然環境、文化・伝統行事の保存活用>

- “空気や水は澄んでいてきれい”、“自慢できるまちなみ景観”については、全体共通で満足度が高い。
- 一方で、“自然が大切に守られている”、“伝統文化や地域行事は大切にされ活発である”、“文化財・地域資源の保存活用”、“環境への取り組みが盛ん”等の保存活用に関する項目については、50代以上や島出身者の満足度が低い傾向がみられ、長く久米島に住んでいる人ほど自然・文化の継承について危惧していると予想される。今後は利活用しながら保存していく取り組みも必要と考える。

<仕事>

- “やりたい仕事を見つけやすい”については、全体共通で満足度が低く、特に10-20代の満足度が低い。男女による差はないが、居住地によって差がある状況である。
- “適切な収入を得る機会はある”についても満足度は低いが、前者と比較して僅かだが満足度が高くなっている。島内における職業選択の幅を広げることと、既存職業の魅力度向上によって、収入機会につなげていけるとよい。

3. アンケートのクロス集計結果のまとめ

7) 今後の島づくりについて

<生活(社会)の視点>

- 全地域共通で“**島内医療の充実と島外機関の受診支援**”、“**産前産後子育ての支援**”の重要度が高い。一方で、この2点は満足度が低い状況でもあり、**早期に支援拡大・強化を進める必要性が高い**と見受ける。
- “**交通手段の拡大**”についても全地域共通で重要度が高い。島内における公共交通機関での移動性については満足度が低い状況であり、島内・島外往来における移動の利便性向上の**必要性が高い**と見受ける。
- “**福祉サービス・生涯学習の充実・健康増進支援**”の割合が比較的高い美崎小学校区と久米島小学校区は、**字別高齢人口が多い地域**であり、**地域住民の高齢化に対応するサービスへの関心が高い**と見受ける。

<生業・産業の視点>

- 全地域共通で“**地域での人材確保・育成**”の重要度が高く、**長期的雇用につながる地域での人材確保と、専門性向上のための離島地域における課題も考慮したスキルアップ支援の必要性が示唆される**。
- “**島の資源を生かした観光振興**”、“**農業の振興**”についても、全地域共通で重要度が高い傾向にあり、島の基幹産業として重視されていることがわかる。
- 居住地によっては、“**漁業・養殖業の拡大**”、“**ものづくり分野の支援**”、“**商業エリアの活性化**”の重要度が比較的高いが、**近隣地域に漁港やユイマール館、商店街が位置することから、自身の地域で身近な産業に対してより関心が高い傾向にある**ことがわかる。

<自然・環境の視点>

- 全地域共通で“**自然環境の保全・活用**”が最も重要度が高く、**豊かな自然を誇りに感じる住民も多いこと**から関心が高いと見受ける。
- “**再生可能エネルギー・新エネルギーの活用**”も重要度が高い一方で、“**ごみの軽減・資源の循環化**”はあまり関心が高くない。**家庭ごみの排出量の抑制喚起や、適切な資源化・エネルギー化に向けた取り組みが必要**と考えられる。